Victor
"HIS MASTER'S VOICE"

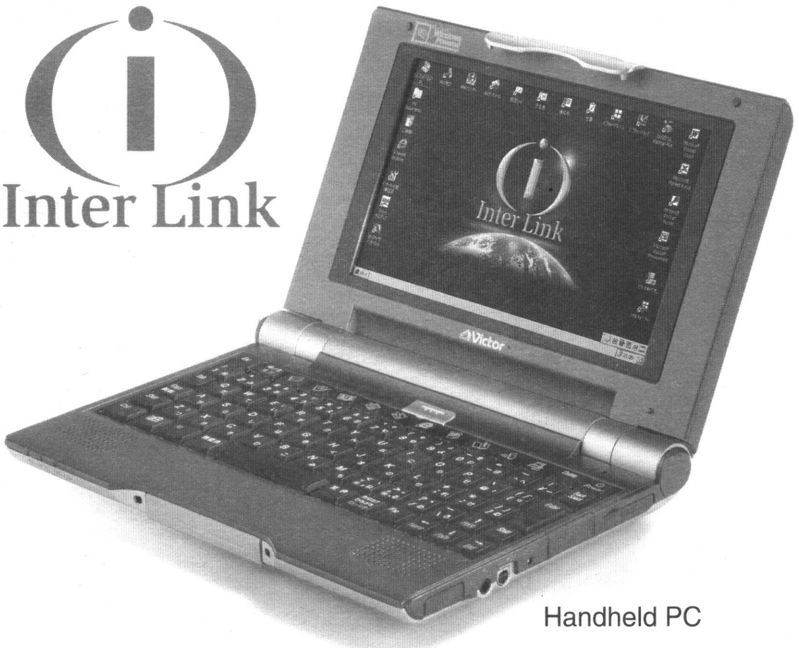
取扱説明書 2

モバイルPC

型名 MP-C303-＊

＊は、外観のデザイン色により、英大文字が異なります。
＊部 A:アクアブルー、D:サニーオレンジ

本書とは別に「かんたんスタートガイド（取扱説明書1）」があります。
まず先に「かんたんスタートガイド」をお読みください。



Handheld PC

お買い上げありがとうございます。

ご使用の前に

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
また「安全上のご注意」と「使用上のご注意」が書いてある添付シートを必ずお読みください。お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

Microsoft Windows Powered

LET0176-002A

InterLink（MP-C303）の特長

InterLinkは軽くスタイリッシュなモバイルPCです。
手軽に使えるコミュニケーションツールとして、モバイルでAV（オーディオ・ビジュアル）を楽しめるマルチメディアプレーヤーとして、そしてもちろんビジネスツールとしてもお使いいただけます。

●コミニュケーション機能が充実したモバイルPC

軽くて強いスタイリッシュなマグネシウム合金のボディに、7インチのワイドSVGA（1024×600）のカラーTFT液晶を搭載、15mmピッチのキーボード、高速で省電力タイプのMIPS CPUを採用し、持ち運びの便利さと、使いやすさを同時に実現しています。
さらに、モデムとPHS/PDC/cdmaOneインターフェースを内蔵、Eメールソフトと Webブラウザも搭載しているので、モバイルするにはInterLinkとケーブル1本だけでOKです。

●マルチメディアプレーヤーとして

ステレオスピーカーを内蔵。MP3やMIDIのミュージックプレーヤーとしても活躍のシーンが広がります。
「AVリンクジュークボックス」（MP3、MIDI、動画プレーヤー）、画像ソフトウェア「ピクチャーアルバム」「ピクチャーパレット」、Microsoft社の「Windows Media Player」、通信カラオケ「キントーン」といったソフトウェアを搭載し、モバイルのマルチメディアプレーヤーとしてフルに楽しむことができます。

●ビジネスのPDAとして

ビジネスに強いハンドヘルドPC。PCと連携して使用できる「スケジュール」「仕事」「アドレス帳」「受信トレイ」の4つの機能を持ったPIMソフト「Pocket Outlook」。ポケットオフィスソフトの「Pocket Word」「Pocket Excel」「Pocket PowerPoint」「Pocket Access」が搭載されていますので、買ったその日から活用できます。

遊びにも仕事にも強いモバイルPC、それがInterLinkです。

ハンドヘルドPC（Handheld PC）の特長

ハンドヘルド**PC**はMicrosoft® Windows® Handheld PC 2000をOSに使用したデバイスです。
Windows95/98とよく似た操作性を持っています。

●ハンドヘルドPCの特長

ハンドヘルドPCの最大の特長は手軽に使用できるということです。
電源スイッチを入れるとすぐに使え、また作業中に電源をオフにしても作業状態が保存され、次に電源をオンにした時には前の状態でそのまま作業が続けられます。

●ハンドヘルドPCの標準搭載ソフトウェア

「Pocket Outlook」やビジネスソフト「ポケットオフィス」（Pocket Word、Pocket Excel、Pocket PowerPoint、Pocket Access）を標準で搭載しています。
これらのソフトは、PCと連携して使用でき、ハンドヘルドPCで作成したデータをPCで見たり、逆にPCのデータをハンドヘルドPCで見るといったことができます。
さらに、「Pocket Outlook」をPCの「Outlook97/2000」と同期して使用すると、PCとハンドヘルドPCの両方で常に最新のデータを見ることができます。

●広がるハンドヘルドPCの使い方

一般的な電子手帳やEメール専用機とは異なり、ハンドヘルドPC用には市販ソフトウェアの他、ネットワークから入手できるさまざまなフリーウェア、シェアウェアがあります。
また、USB機器やPCカードで拡張できるため、マウスやビデオカメラといった入力機器、LANカードによるイーサネット接続など、使い方は無限に広がります。

目次

●正式名称

■ 機種名やアプリケーション名などの正式名称

本書での表記	正式名称
InterLink	InterLink (MP-C303)
Handheld PC	Microsoft® Windows® Powered, Handheld PC 2000 日本語版
ActiveSync 3.1	Microsoft® ActiveSync® 3.1
Windows 95	Microsoft® Windows® 95 Operating System
Windows 98	Microsoft® Windows® 98 Operating System
Windows NT 4.0	Microsoft® Windows NT® Workstation Operating System Version 4.0
Windows 2000	Microsoft® Windows ® 2000 Professional
Pocket Excel	Microsoft® Pocket Excel
Pocket Word	Microsoft® Pocket Word
Internet Explorer	Microsoft® Internet Explorer for Handheld PC
Pocket Access	Microsoft® Pocket Access
Pocket PowerPoint	Microsoft® Pocket PowerPoint®
InkWriter	Microsoft® InkWriter®
Voice Recorder	Microsoft® Voice Recorder
Media Player	Microsoft® Windows Media™ Player for Handheld PC
Pocket Outlook	Microsoft® Pocket Outlook®

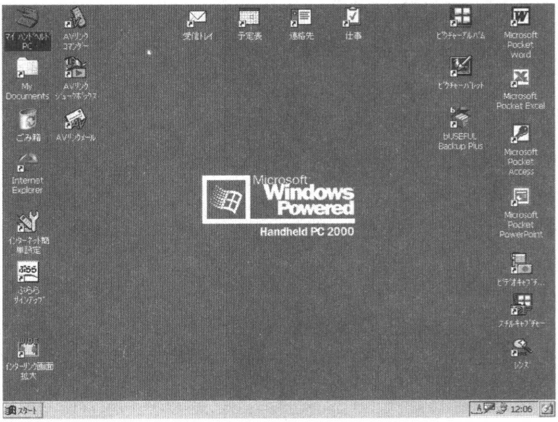
■ 登録商標について

1 ハンドヘルドPCの基礎

「かんたんスタートガイド」（取扱説明書 1）を参照して、「インターネット簡単設定」をおこなってください。

デスクトップとスタートメニュー

InterLinkのセットアップが終ると、最初にこのデスクトップ画面が表示されます。

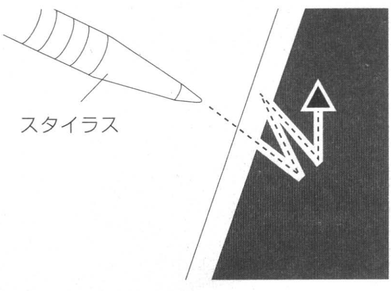


デスクトップ画面

これがInterLinkの基本画面です。ここから、アプリケーションを起動したり、InterLink内のフォルダにアクセスしたりできます。

デスクトップのアイコン

デスクトップのアイコンを開くには、アイコンをスタイラスでダブルタップします。



スタートボタンとスタートメニュー

画面の左下に「スタート」ボタンがあります。このボタンをタップすると「スタートメニュー」が表示されます。「スタートメニュー」から、メニューを選んで、設定やアプリケーションを起動します。

メニューの右端に▶が表示された場合、そのメニューには下の階層があります。メニューを選ぶと、さらにメニューが開きます。

タスクバー

画面の下のグレイの部分を「タスクバー」といいます。「タスクバー」にはタスク（動作中のソフトウェア）がボタンで表示されます。使用中のソフトウェアから、他のタスクに切り替えるには、タスクバーのボタンをタップします。

タスクトレイ

画面の右下の部分を「タスクトレイ」といいます。タスクトレイには入力モードインジケーター（→ 14ページ）や、電源の状態アイコン、時計などが表示されます。タスクトレイのアイコンはダブルタップして開きます。

●**タスクバーを自動的に隠す**

「スタート」メニューから「設定」→「タスクバー」を選択し、「タスクバーのオプション」タブの「自動的に隠す」のチェックマークをオンにすることにより、タスクバーを自動的に隠すことができます。タスクバーを隠した場合、画面下部の約 1mm のグレイの部分をタップすると、タスクバーが自動的に現れます。

注意

タスクバーを出現させるには、タスクバーよりさらに下部（ディスプレイの液晶パネルの黒い縁の部分）をタップしてください。どうしても現れない場合は、「Ctrl」キーを押しながら「Esc」キーを押して、タスクバーを出現させてください。

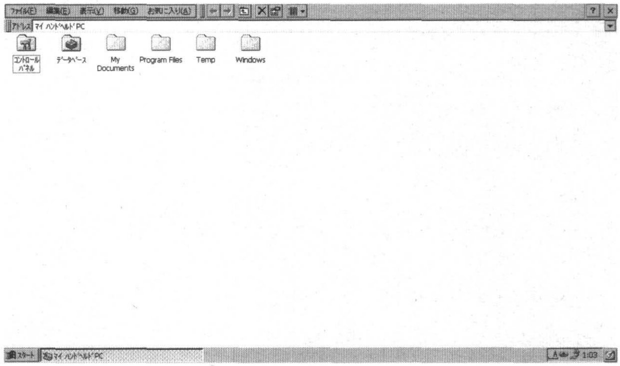
デスクトップボタン

画面の右下の端に「デスクトップ」  ボタンがあります。「デスクトップ」ボタンをタップすると、他のソフトウェアの使用中でも、デスクトップを表示します。

エクスプローラの基本操作



デスクトップの「マイハンドヘルドPC」アイコンをダブルタップすると、エクスプローラが起動します。



エクスプローラ

ハンドヘルドPCはフォルダを使って、ファイルを分類して管理できます。

フォルダは、その中にファイルを保存できます。また、フォルダの中にフォルダを作ることもできます。

たとえば、「文書」フォルダと「画像」フォルダのように分類することができます。

また、「文書」フォルダの中に、「今年作成分」「去年作成分」のようにフォルダを作ってファイルを管理することができます。

フォルダは、黄色い  で表示されます。

フォルダ以外のファイルは、そのファイルを作成したアプリケーションのアイコンで表示されます。たとえば、Pocket Wordで作成した文書は  で表示されます。

ファイルやフォルダを開く

ファイルのアイコンをダブルタップすると、そのファイルが開きます。

フォルダのアイコンをダブルタップすると、そのフォルダが開きます。

上のフォルダに戻る

ひとつ上の階層のフォルダを開くには、 のアイコンをタップします。

複数のファイル／フォルダを選択する

連続した範囲の複数のファイルを選択するには、選択する範囲の最初のファイル（フォルダ）を「Shift」キーを押しながらタップし、範囲の終わりのファイル（フォルダ）を「Shift」キーを押しながらタップします。
ファイルをとびとびに選択するには、「Ctrl」キーを押しながらタップします。

ファイルをコピーする

ファイルのコピーは、２段階の手順が必要です。

1. ファイルを選択し、「編集」メニューの「コピー」を選択しコピーします。

2. コピー先のフォルダを開き、「編集」メニューの「貼り付け」を選択し貼り付けます。

参考

あらかじめ、コピー元とコピー先のフォルダを2つのエクスプローラで開いておき、タスクバーで切り替えて作業をすると便利です。

ファイルを移動する

ファイルの移動は、２段階の手順が必要です。

1. ファイルを選択し、「編集」メニューの「切り取り」を選択します。

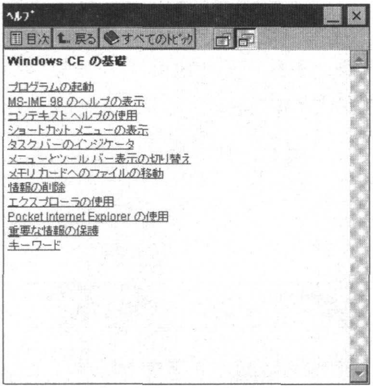
2. コピー先のフォルダを開き、「編集」メニューの「貼り付け」を選択し貼り付けます。

ファイルを削除する

削除するファイルを選択して、 ボタンをタップします。

ヘルプを見る

ヘルプを見るには、ウインドウ右上の ? ボタンをタップするか、「Alt」キーを押しながら「H」キーを押します。
状況にあわせたヘルプが表示されます。



ヘルプ

ヘルプの青字の部分をタップすると、その内容が表示されます。

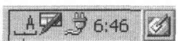
キーボードを使う

キーボードから日本語を入力する

キーボードから日本語を入力するには、キーボードを日本語モードに切替えます。
英語モードと日本語モードを切り替えるには、キーボードの「漢字」キーを押します。

●入力モードの切替え

キーボードの状態は、タスクトレイの入力モードインジケーターに表示されます。



入力モードインジケータ

あ	ひらがな（漢字変換時）
カ	全角カタカナ
A	全角英数字
_ｶ	半角ｶﾀｶﾅ
_A	半角英数字
_A	直接入力

入力モードインジケーター をタップすると、モードの一覧が表示されます。
使用するモードをタップします。

●かな入力とローマ字入力を切替える

「Alt」キーを押しながら「ローマ字」キーを押すと、ローマ字入力とかな入力が切り替わります。

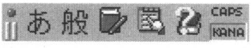
●漢字変換する

日本語モードで入力すると、入力した文字に破線がつきます。
この状態で、「スペース」キーまたは「変換」キーを押すと漢字に変換されます。

・変換結果が正しくない場合は、「スペース」キーまたは「変換」キーを押すと、次の変換候補が表示されます。
・変換対象の文節の長さが正しくない場合は、「Shift」キーを押しながら「←」（文節を縮める）または「→」（文節を延ばす）を押し、希望する文節の長さになったら「スペース」キーまたは「変換」キーを押します。
・「Esc」キーを押すと、漢字変換の操作が取り消されます。

●ツールバーを表示する

ツールバーが表示されていない場合は、入力モードインジケーターをタップすると、モードの一覧の上に「ツールバーを表示する」という項目があります。
この項目を選択すると、日本語入力のツールバーが表示されます。



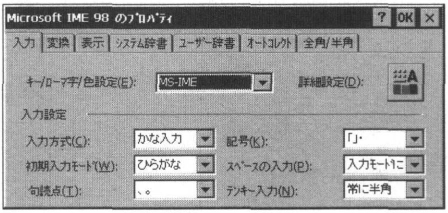
日本語入力のツールバー

はじめに
ハンドヘルドPCの基礎
データのバックアップ
付属アプリケーション
ハードウエアの取り扱い
ネットワークの設定
困ったときは
付録

> **参 考**
>
> 詳細設定ボタンをタップすると、より詳細な設定がおこなえます。キー/ローマ字/色の設定もテンプレート以外に変更できます。

● **MS-IME を設定する**

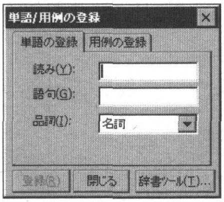
日本語入力ツールバーの「設定」 アイコン をタップすると、MS-IME の設定ウインドウが表示されます。この画面で、キーや漢字変換の詳細を設定します。



IME98 のプロパティ

●**単語を登録する**

日本語入力ツールバーの単語／用例登録アイコン を タップすると、MS-IME の単語／用例登録のウインドウが表示されます。



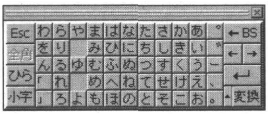
単語登録

読みと、登録する漢字を入力し、品詞を選択します。

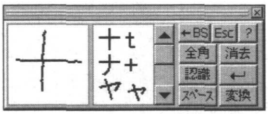
入力パネルを使う

タスクトレイの「入力パネル」アイコンをタップして表示されるメニューから選ぶと、タッチパネルから文字を入力できます。

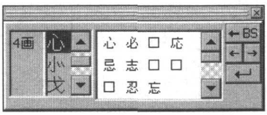
ソフトウェアキーボード・手書き入力・手書き検索で入力できます。



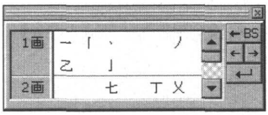
ソフトキーボード



手書き検索



部首画数検索



総画数検索

PCとの接続

InterLinkはActiveSyncを使用して、PCと接続して使用できます。

ActiveSyncでできること

ActiveSyncでPCと接続すると、PCとInterLinkのスケジュールやアドレス帳の「同期」、PCとInterLinkの間の「ファイル操作」、InterLink用のプログラムの「インストール」ができるようになります。

ActiveSyncのインストール

ActiveSyncはPCにインストールし、InterLinkと「パートナー関係」を設定します。

ActiveSyncをインストールするには、PCとInterLinkおよびシリアル接続ケーブルまたはPCにIrDAをサポートした赤外線ポートが必要です。

PCで、起動しているほかのアプリケーションを終了します。

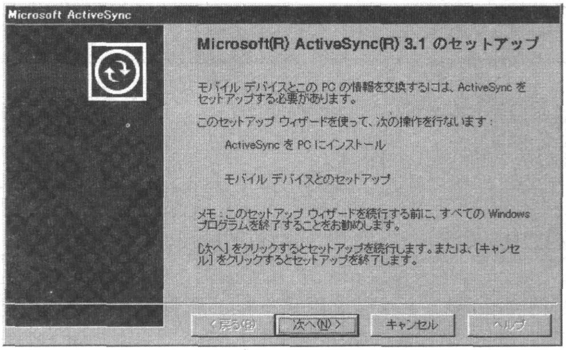
❶ActiveSyncのCD-ROMをPCのドライブにセットします。

自動的にActiveSyncのインストーラーが起動します。(自動起動しない場合は、CD-ROMドライブの「Setup.exe」をダブルクリックします)

「Microsoft　ActiveSync3.1のセットアップ」画面が表示されます。

注意

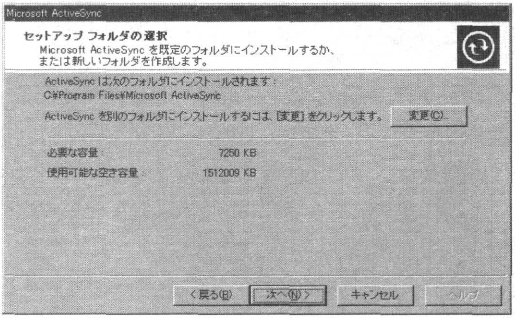
赤外線ポートを使用して接続する場合はPCの赤外線ポートが使用可能になっていることを「コントロールパネル」で確認してください。



ActiveSync セットアップ画面

❷「次へ」ボタンをクリックします。

「セットアップフォルダの選択」画面が表示されます。

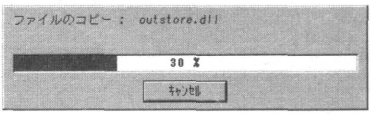


セットアップフォルダ選択画面

セットアップ先のフォルダを変更する場合は、「変更」ボタンをクリックして、セットアップ先のフォルダを選択します。

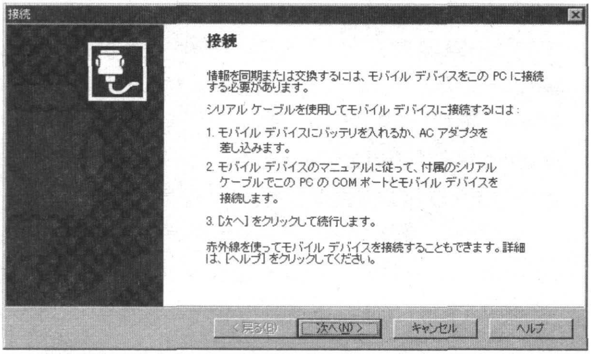
❸「次へ」ボタンをクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。



ファイルのコピーの進み方は、中央のバーで表示されます。100%になったら、ファイルのコピーは終了です。

コピーが終わると、「接続」画面が表示されます。

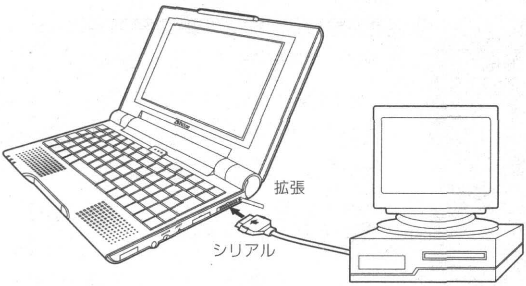


接続画面

参考

赤外線ポートを使ってPCとInterLinkを接続する場合は「ヘルプ」ボタンをクリックして表示される手順にしたがって接続してください。

❹InterLink の電源をオンにして、InterLink の左側面の拡張コネクターのふたを開き、専用シリアル接続ケーブルの「→」マークを上にしてゆっくりと差し込みます。



注意

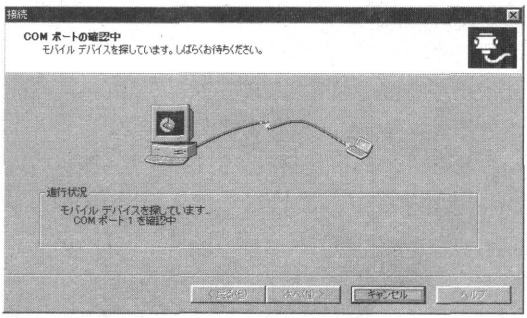
ケーブルが入らない時は、ケーブルの接続する端と接続方向を確認してやり直してください。無理に押し込むと、本体やケーブルが破損する恐れがあります。

InterLinkと PCのUSBポートを接続しても、ActiveSyneでの接続はできません。専用シリアル接続ケーブルまたは赤外線ポートを使用して接続してください。

❺PC の COM ポート（COM1、COM2 のどちらでもよい）に、専用シリアル接続ケーブルのもう一方の端を接続し、軽くねじを固定します。

❻「次へ」ボタンをクリックします。

「COM ポートの確認中」画面が表示されます。



COM ポートの確認中画面

> **注意**
>
> ActiveSyncでPCから接続を行って、PCに「デバイスが検出されませんでした」画面が表示された場合は、①と②の操作を行ってください。

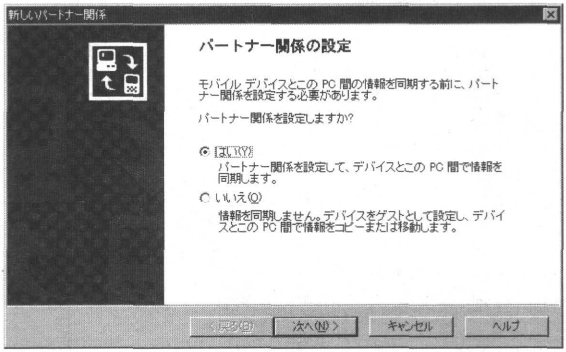
PCに「デバイスが検出されませんでした」画面が表示された場合は、

① **InterLinkに「ホストに接続中」の画面が表示されている間に、PCの「デバイスが検出されませんでした」画面の「次へ」を押します。**

② **InterLinkに「通信エラー」のメッセージが表示された場合は、右上の「OK」ボタンを押し、終了させます。**

InterLinkの「スタート」メニューから「プログラム」→「通信」→「PCリンク」とタップするとInterLinkに「ホストに接続中」の画面が表示されますのですぐにPCの「デバイスが検出されませんでした」画面の「次へ」を押します。

PCとInterLinkが接続され、「パートナー関係の設定」画面が表示されます。

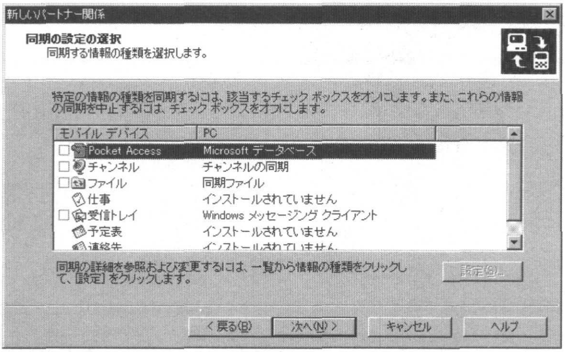


パートナー関係の設定画面

「パートナー関係」とは、PCとInterLinkを接続した時に、データを同期(自動的に情報を更新する)することをいいます。
「はい」を選ぶと、パートナー関係を設定します。
「いいえ」を選ぶと、パートナー関係を設定しません。この場合は、情報の同期はおこなわれず、PCからInterLinkのファイルを操作するだけになります。

❼ **「次へ」ボタンをクリックします。**

「はい」を選んだ場合は「新しいパートナー関係」画面が表示されます。
「いいえ」を選んだ場合は、「新しいパートナー関係」画面をスキップして「セットアップの完了」画面にすすみます。



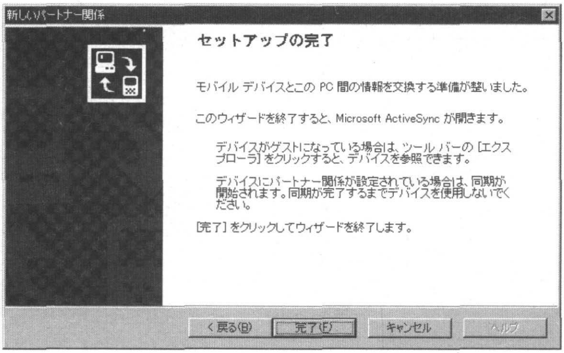
新しいパートナー関係画面

❽ PCとInterLinkの間で同期するファイルの種類を選択します。

同期したい項目の「モバイルデバイス」欄の□をクリックしてチェックを付けます。

❾「次へ」ボタンをクリックします。

セットアップの終了画面が表示されます。



セットアップの完了画面

これで、ActiveSyncのセットアップは終了です。

❿「完了」ボタンをクリックします。

セットアップが終了して、自動的にActiveSyncが開きます。

同期は自動的におこなわれます。その他のファイルの操作については「モバイルデバイスを使う」(→34ページ)をお読みください。

参考

PCにOutlook 2000がインストールされていない場合は、「仕事」「予定表」「連絡先」には□が表示されず、選択できません。
Outlook 2000は、付属のMicrosoft ActiveSync CD-ROMからインストールすることができます。使い方はCD-ROMに付属の「活用ガイド」を参照してください。

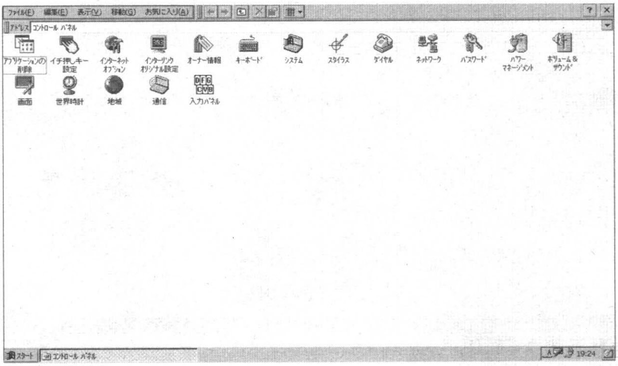
注意

USBケーブルでの接続はInterLinkでは使用できません。

Internet Explorer 5.x の「モバイルのお気に入りの作成」機能はInterLinkでは使用できません。

設定する（コントロールパネル）

コントロールパネルを使うと、使い方に合わせてInterLinkを設定できます。
「スタート」メニューから「設定」→「コントロールパネル」の順にタップすると、コントロールパネル画面が表示されます。



コントロールパネル

それぞれのアイコンをダブルタップすると、設定画面が表示されます。

コントロールパネルでは、以下の項目を設定できます。

項目	内容
アプリケーションの削除	アプリケーションを削除します。
イチ押しキー設定	イチ押しキーの設定をおこないます。
インターネットオプション	Internet Explorerの接続、セキュリティ表示その他の動作を設定します。
インターリンクオリジナル設定	画面表示、パネル開閉時のレジューム／サスペンド、システムフォントのサイズを設定します。
オーナー情報	オーナーの個人情報を変更します。
キーボード	キーリピートの速度とリピート開始までの待ち時間を設定します。
システム	システムの情報を表示し、メモリの設定を変更します。
スタイラス	タッチスクリーンの補正と、ダブルタップの速度を調整します。
ダイヤル	電話番号の設定を変更します。
ネットワーク	ネットワーク（LAN）の構成を変更します。
パスワード	オーナーのパスワードを変更とセキュリティのオプションを設定します。
パワーマネジメント	パワーマネジメントのオプションを設定します。*
ボリューム&サウンド	イベントのサウンドの設定とボリュームを調整をします。
画面	デスクトップの背景、デザイン、バックライト減光時間を変更します。
世界時計	日付、時刻、地域およびアラームを設定します。
地域	数値、通貨、日付、時刻の表示方法を変更します。
通信	デバイスの名前、説明、ダイヤルの設定、PCとの接続方法を設定します。
入力パネル	入力方法を設定します。

*パワーマネジメントのプロパティのダイアログを表示させておくと、オートサスペンドは働きません。

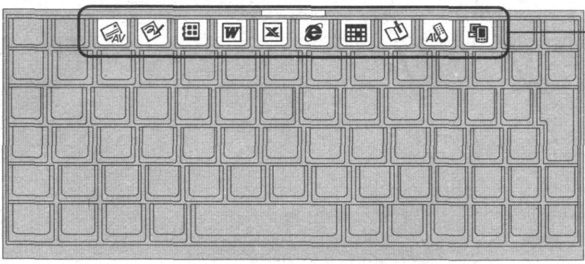
ここでは、InterLink独自のコントロールパネルの「イチ押しキー設定」「インターリンクオリジナル設定」のそれぞれの設定と「システム」の「メモリの設定」について説明します。

イチ押しキー設定

InterLinkのキーボードには、押すだけで設定されているソフトウェアを起動することができる「イチ押しキー」が10個あります。



イチ押しキー設定



イチ押しキーで起動するソフトウェアを変更するのが「イチ押しキー設定」です。イチ押しキーは、それぞれ「Shift」キーや「Ctrl」キーと同時に押した場合も設定できます。



イチ押しキー設定

❶ **イチ押しキー設定画面で、設定するキーのアイコンをタップします。**
イチ押しキーで起動するプログラムの入力画面が表示されます。



イチ押しキー設定
（プログラム選択）

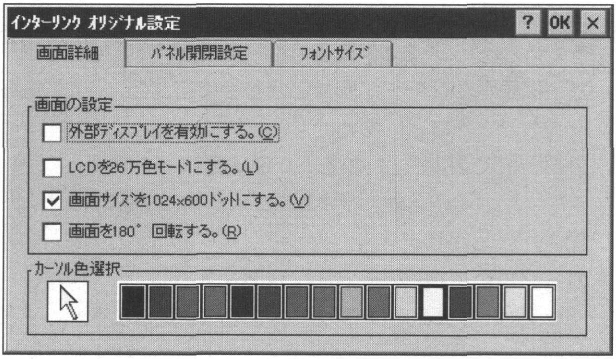
❷ **起動するプログラムのファイル名を入力します。または、「参照」ボタンをタップして、プログラムを選択します。**
❸ **「OK」ボタンをタップして、イチ押しキー設定画面に戻ります。**

インターリンクオリジナル設定

InterLinkの各種設定を変更します。
設定終了後、InterLinkをリセット（→「かんたんスタートガイド」取扱説明書1　7ページ）すると変更が有効になります。



インターリンク
オリジナル設定



インターリンク
オリジナル設定

●**画面詳細タブ**

外部ディスプレイを有効にする

チェックボックスをオンにすると、接続した外部ディスプレイに出力されます。
外部ディスプレイ出力をおこなう場合の色数と解像度は以下の通りです。

外部ディスプレイ出力をサポートしたアプリケーション（Pocket Power Point、ピクチャーアルバムのスライドショウなど）	内蔵LCD	256色
	外部ディスプレイ	アプリケーションの設定による（最大800×600ドット、1670万色）
その他のアプリケーション	内蔵LCD	256色
	外部ディスプレイ	256色（内蔵LCDと同じ画面表示）XGAモードで表示されるため、周囲が黒く表示されます。

LCDを26万色モードにする

チェックボックスをオンにすると、ディスプレイが26万色モードになります。ただし、このモードでは、動画・音声のマルチメディアアプリケーションの動作をサポートしていません。音声出力がとぎれたり、ノイズが入ることがありますが、故障ではありません。

> **注　意**
>
> 800×600ドットモードと1024×600ドットモードでは、デスクトップアイコンの位置はそれぞれ独立して記憶されます。そのため、CD-ROMからアプリケーションをインストールした後に画面サイズを切り替えると、インストールしたアプリケーションのアイコンが他のアイコンと重なって表示されることがあります。その場合は、アイコンをドラッグして位置を変更してください。

画面サイズを 1024 × 600 ドットにする

チェックボックスをオンにすると、画面サイズがビクター独自仕様の 1024 × 600 ドットになります。対応していないアプリケーションが正常に動作しない可能性があります。チェックボックスをオフにすると 800 × 600 ドットにもどります。

画面を 180°回転する

チェックボックスをオンにすると、画面が 180°回転し上下が逆に表示されます。向かい合わせに座っている人に画面を見せるときなどに便利です。

外部ディスプレイ出力も上下が逆に表示されます。

また、この場合、外部ディスプレイは常に内蔵 LCD と同じ画像が表示されます。

カーソル色選択

マウスカーソルの色をタップした色に変更します。

●パネル開閉設定タブ

LCD パネルを開く時にレジュームする

チェックボックスをオンにすると、ディスプレイを開くと自動的に電源が入るようになります。

LCD パネルを閉じた時にサスペンドする

チェックボックスをオンにすると、ディスプレイを閉じると自動的に電源が切れるようになります。MP3 プレーヤーとして使用する場合など、ディスプレイを閉じたままで動作させたい場合は、このチェックボックスをオフにしてご使用ください。

●フォントサイズタブ

「フォントサイズ」を「通常」と「拡大」から選択します。拡大を選ぶと、メニューバーやデスクトップの文字が大きくなります。ただし、アプリケーションによっては一部の文字が表示されない場合があります。

システム（メモリの設定）


システム

InterLink 内蔵メモリの、プログラムでの使用と、データ記憶用の割合を変更します。変更できるのは、データ記憶・プログラムのどちらにも使用していない空きメモリに限られます。
プログラム実行用のメモリを大きく取ると、より多くのプログラムを同時に実行でき、また、プログラムで大きなデータを扱うことができます。
画像や音声データはできるだけ外部メモリ（コンパクトフラッシュなど）に保存し、内部メモリはプログラム実行用のメモリとして使うことをおすすめします。
また、このダイアログで現在使用中のメモリ量を確認することができます。

注　意

どちらかの領域の残りを非常に少なくなるように設定すると、InterLinkの動作が不安定になったり、動作しなくなることがあります。

2 データのバックアップ

InterLinkには32MBの内蔵メモリが搭載され、プログラムの実行とデータの保存に使用されます。
付属CD-ROMのプログラムのインストールや、受信したメールはデータの保存領域を使用します。内蔵メモリがいっぱいになると、メールの受信ができなくなるなどの問題が発生します。
また、「コールドリセット」をしたり、メインバッテリー（専用リチウムイオンバッテリーパック）、内蔵バックアップ電池ともに使い切ってしまった場合は、内蔵メモリの内容は失われます。
こういった不慮の事故を防ぐためには、メモリカードなどの外部メモリを使用するか、PCにデータのバックアップをとります。

メモリカードにバックアップ

参考

PCカードとCFカードのセット方法および取り出し方法は、105、106ページを参照してください。

InterLinkにはPCカード（PCMCIA）とCF（コンパクトフラッシュ）の2種類のスロットがあり、それぞれに対応したメモリカードをセットできます。
メモリカードは、すべてデータ保存用（ストレージ）として使われます。メモリカードをセットしてもプログラムが使用するメモリサイズは変りません。
メモリカードをセットすると、「マイ　ハンドヘルドPC」内に「メモリ　カード」というフォルダが表示されます。このフォルダがメモリカードのルートフォルダになります。「メモリカード」以下のフォルダにデータを保存する場合は、本体の内蔵メモリを使用しません。

ファイルのバックアップ

大切な内容のファイルは、メモリカードに保存します。これが最も基本的なバックアップ方法です。メモリカードに保存した内容は、コールドリセットや、電池切れでも失われません。
エクスプローラで、内蔵メモリからメモリカードにファイルをコピーします。

bUSEFUL Backup Plus でバックアップする

bUSEFUL Backup Plus を使用すると、ファイルを圧縮してバックアップでき、また、エクスプローラでコピーができない InterLink のシステムの設定（レジストリ）とシステムのデータ（データベース）をバックアップし、また復元できます。

InterLink にメモリカードがセットされていない状態で、下記の操作をはじめます。

参 考

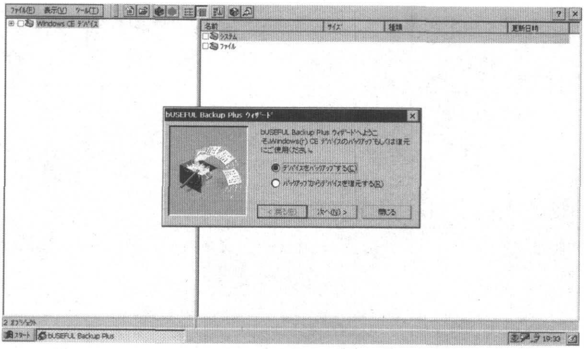
バックアップしたデータから元に戻す場合は、「バックアップからデバイスを復元する」を選択します。



bUSEFUL Backup Plus アイコン

❶ デスクトップの「bUSEFUL Backup Plus」アイコンをダブルタップします。

「bBackup」が起動します。



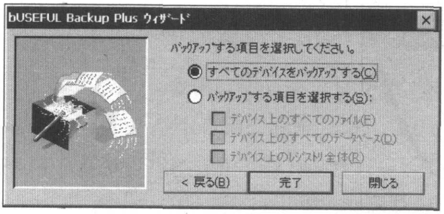
bUSEFUL Backup Plus ウィザード

初期状態では、「bUSEFUL Backup Plus ウィザード」ウィンドウが開きます。

「デバイスをバックアップする」が選ばれていることを確認します（初期設定）。

❷「次へ」ボタンをタップします。

バックアップする項目の選択画面が表示されます。



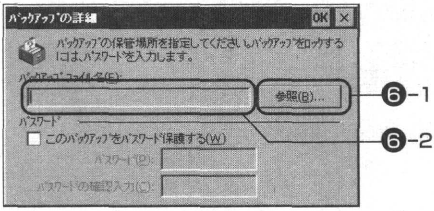
bUSEFUL Backup Plus ウィザード
（バックアップする項目の選択）

❸ **バックアップする項目を選びます。**

「すべてのデバイスをバックアップする」を選びます。

❹ **「完了」ボタンをタップします。**

「バックアップの詳細」画面が表示されます。



bUSEFUL Back uP Plus
（バックアップの詳細）

❺ **メモリカードをセットします。**

❻ **バックアップの保存先を指定します。**

1. フォルダを選ぶ

「参照」ボタンをタップして、バックアップファイルを保存するフォルダ（メモリカードなど）を選びます。

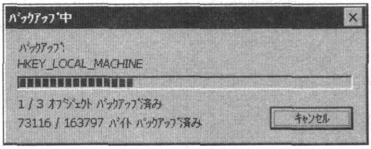
2. ファイル名をつける

「バックアップファイル名」欄にファイル名を入力します。

> **注意**
>
> 保存先はメモリカードなどの外部メモリを指定されることをおすすめします。
> 本体内蔵メモリ上に保存しては、バックアップの意味がありません。

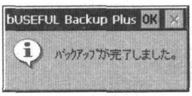
❼ **右上の「OK」ボタンをタップします。**

バックアップを開始し「バックアップ中」画面が表示されます。



bUSEFUL Back uP Plus
（バックアップ中）

バーが右端まで伸びると、バックアップは終了です。
「バックアップの完了」画面が表示されます。



bUSEFUL Back uP Plus
（バックアップ完了）

❽ **右上の「OK」ボタンをタップします。**

「bBackup」のメイン画面に戻ります。

❾ **「ファイル」メニューの「終了」を選択します。**

「bBackup」を終了します。

bUSEFUL Backup Plusで復元（リストア）する

❶「bUSEFUL Backup Plusでバックアップする」の手順❶にしたがって「bBackup」を起動します。

❷バックアップファイルが保存されている外部メモリをセットします。

❸「bUSEFUL Backup Plusウィザード」ウィンドウで「バックアップからデバイスを復元する」をタップします。

❹「次へ」ボタンをタップします。

以降は画面の指示に従って操作してください。

AVリンクメール設定バックアップ

「AVリンクメール設定バックアップ」を使用すると、「AVリンクメール設定情報」「ダイアルアップ設定情報」「アドレス帳情報」および「メール本文」をバックアップできます。設定とメールを外部メディアに保存することで、誤って設定やメールを削除してしまった場合や、コールドリセットをおこなった場合にも、内容が失われることを防ぎます。

❶「スタート」メニューから「プログラム」→「InterLinkユーテリティ」→「AVリンクメール設定バックアップ」の順に選択します。

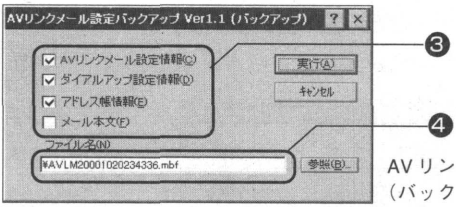
「AVリンクメール設定バックアップ」が起動します。



AVリンクメール設定バックアップ

❷「バックアップ」ボタンをタップします。

「AVリンクメール設定バックアップ（バックアップ）」ウィンドウが表示されます。



AVリンクメール設定バックアップ（バックアップ）

❸ **バックアップするデータを選びます。**

バックアップする種類のデータのチェックボックスをオンにします。

❹ **バックアップの保存先を入力します。**

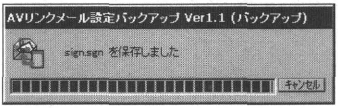
バックアップファイル名は自動でつけられます。ファイル名または保存先を変更する場合は「ファイル名」欄に入力するか「参照」ボタンをタップして保存先を選びます。

外部メモリに保存する場合は、「参照」ボタンをタップして、保存先を外部メモリに変更します。

> **注意**
>
> バックアップの保存先は、メモリカードなどの外部メモリを指定してください。本体内蔵メモリに保存しては、バックアップの意味がありません。

❺ **「実行」ボタンをタップします。**

バックアップを開始します。



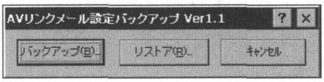
バックアップ実行中

バックアップが終了したら、自動的にウインドウが閉じ、「AV リンクメール設定バックアップ」を終了します。

「AVリンクメール設定バックアップ」でリストアする

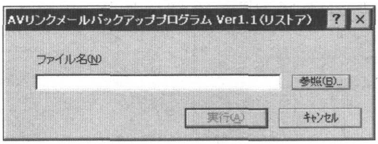
バックアップした設定およびメール本文は「AV リンクメール設定バックアップ」でリストア（保存したデータから元に戻す）できます。

❶ **「AV リンクメール設定バックアップ」の手順 ❶にしたがって「AV リンクメール設定バックアップ」を起動します。**



❷ **「リストア」ボタンをタップします。**

バックアップファイルを選択する画面が表示されます。



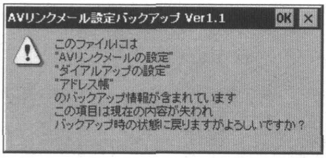
AV リンクメール設定
バックアップ（リストア）

❸「参照」ボタンをタップして、バックアップファイルを選択します。

❹「実行」ボタンをタップします。

リストアを開始します。

リストアの開始時に、以下のような警告のメッセージが表示されます。



警告のメッセージ

このメッセージは、リストアを実行すると現在のAVリンクメールの設定が上書きされることの注意です。

❺「OK」ボタンをタップします。



リストア実行中

リストアが終了したら、自動的にウインドウが閉じ、「AVリンクメール設定バックアップ」を終了します。

PCにバックアップ(ActiveSync)

InterLinkとPCを接続すると、「モバイルデバイス」を使ってInterLinkとPCの間でファイルのコピー・移動ができます。また、ActiveSyncには、メモリの内容をすべて保存するバックアップ機能が搭載されています。

モバイルデバイスを使う

注意

この作業の前に、あらかじめPCにActive Syncをインストール(→17ページ)してください。

参考

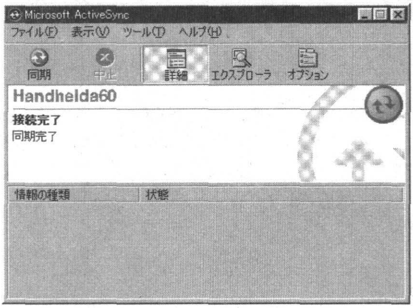
赤外線ポート(IrDA)を使ってPCにバックアップすることもできます。

PCとInterLinkをActiveSyncで接続すると、それぞれの間でファイルをやりとりできます。
ここでの操作はすべてPCでおこないます。

❶PCとInterLinkを専用シリアル接続ケーブルで接続します。

自動的にPCでActiveSyncが起動し、自動的に同期します。

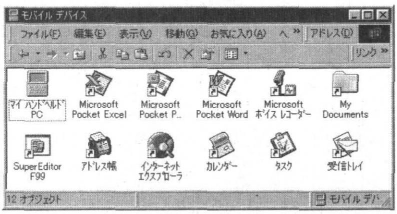
❷モバイルデバイスを開きます。



ActiveSync (PC)

「接続完了」のメッセージが表示されたら、「エクスプローラ」アイコンをクリックします。
「モバイルデバイス」のウインドウが開きます。

❸モバイルデバイスでInterLinkのファイルを操作します。



モバイルデバイス

モバイルデバイスウインドウは、接続しているInterLinkのメモリ内を表示します。
この中の「My Documents」フォルダや「マイ ハンドヘルド PC」アイコンをダブルクリックして開き、通常のWindows95(98)のファイル操作と同じ手順で操作します。

> **注 意**
>
> モバイルデバイス内のファイルを開くことはできません。モバイルデバイスに対しておこなえる操作は、ファイルのコピー、移動、削除に限られます。
> 「データベース」フォルダ内のファイルは操作できません。

「バックアップと復元」でバックアップする

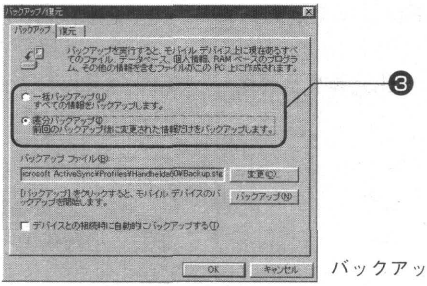
ActiveSyncを使って、接続しているInterLinkの本体メモリの内容をバックアップできます。
バックアップファイルはPCに保存されます。また、ActiveSyncを利用したバックアップはメモリ内のすべてのファイルが対象となります。

❶PCとInterLinkをシリアルケーブルで接続します。

自動的にPCでActiveSyncが起動します。

❷「ツール」メニューから「バックアップ／復元」を選択します。

「バックアップ／復元」画面が表示されます。



バックアップ／復元画面

❸バックアップ方法を「一括バックアップ」か「差分バックアップ」をクリックして選択します。

はじめてバックアップする場合は、どちらを選んでも、メモリ内のすべてのデータが対象となります。

> **参 考**
>
> バックアップ時にはInterLinkをAC電源に接続してください。データの保存量によりますが、全バックアップには時間がかかります。
> バックアップ中に電池が切れたりした場合、バックアップは失敗になります。

❹「OK」ボタンをクリックします。

バックアップが開始されます。



バックアップ実行中画面

バーが右端まで伸びたらバックアップは完了です。

バックアップ完了画面が表示されます。

❺「OK」ボタンをクリックします。

バックアップを終了します。

「バックアップと復元」で復元する

> **注意**
>
> 復元を実行すると、InterLinkのメモリの内容がすべて失われます。

❶「『バックアップと復元』でバックアップする」の手順❶にしたがって「バックアップ／復元」画面を表示します。

❷「復元」タブをクリックします。

復元画面が表示されます。

❸復元するファイル名を入力するか、「参照」をクリックします。

復元するバックアップファイルを指定します。

❹「復元」ボタンをクリックします。

復元が実行されます。復元が終了するまでInterLinkは操作しないでください。

復元が終了したら、InterLinkをリセットします。

3 付属アプリケーション

アプリケーション一覧

本書で説明するアプリケーションは下表のとおりです。その他のアプリケーションやドライバについては、それぞれのヘルプまたはReadmeファイルを参照してください。

分類	アプリケーション名
メール	AVリンクメール
Webブラウザ	Internet Explorer for Handheld PC
Pocket Outlook	予定表、仕事、連絡先、受信トレイ
ポケットオフィス	Pocket Word、Pocket Excel、Pocket Access、Pocket Power Point
ツール	bUSEFUL Backup Plus、オリジナルブックマーク、ぷららサインアップ
アクセサリ	AVリンクコマンダー、世界時計、電卓、ボイスレコーダー、InkWriter、ターミナル、クイックメモ
ゲーム	ソリティア
画像ソフトウェア	ピクチャーアルバム、ピクチャーパレット
サウンドソフト	AVリンクジュークボックス、Windows Media Player
USBカメラを接続して使う	ビデオキャプチャー、スチルキャプチャー
CD-ROMアプリケーション	bFind、クイックディクショナリー、キントーンプレーヤ、ラップンボイス、ビジュアルチャッター、ＪＲトラベルナビゲータ、10円メールマスター、VB Runtime and MSMQ※1
CD-ROMアプリケーション（Windows）	Quick Dictionaryクリエーター、デモ版　キントーンプレーヤ、Adobe Acrobat Reader 4.05日本語版

※1 アプリケーションCD-ROMの「説明」フォルダーのVB Runtime and MSMQ.txtを参照してください。
・CD-ROMアプリケーションはバージョンアップによる変更が行なわれる場合があります。

AVリンクメールを使う（電子メール）

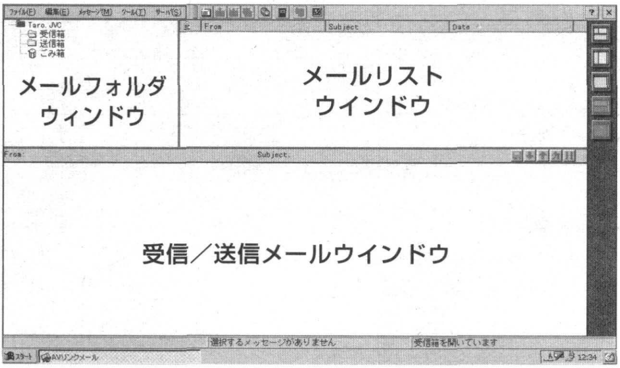
「AV リンクメール」はInterLinkオリジナルの電子メールソフトウェアです。
インターネットメールの送受信ができるほか、「ピクチャーパレット」や「スチルキャプチャー」といったビクターオリジナルソフトと連携することもできます。

AVリンクメールの起動

イチ押しキーの  を押すか、デスクトップの「AV リンクメール」アイコンをダブルタップします。
「AV リンクメール」のメイン画面が表示されます。
AV リンクメールの画面は次のようになっています。



AVﾘﾝｸﾒｰﾙ



注意

この画面は、あらかじめ「インターネット簡単設定」でメールの設定が済んでいる場合に表示されます。メールの設定がまだの場合は、「AV リンクメール」の設定画面が表示されます。「キャンセル」ボタンをタップして設定を中止し、「インターネット簡単設定」（→「かんたんスタートガイド」取扱説明書1　10ページ）を先におこなってください。

●メールのアイコンについて

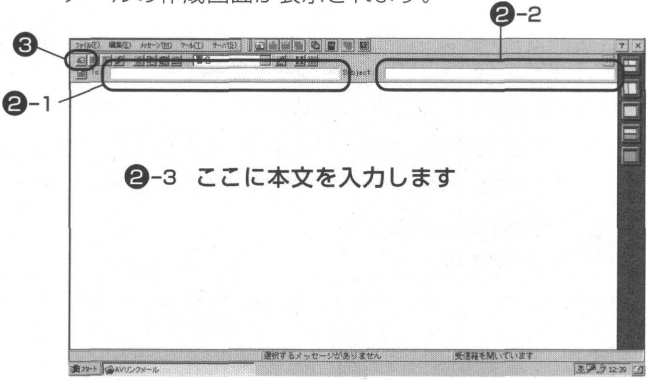
メールの先頭についているアイコンの意味は以下の通りです。

送信箱		編集中メッセージ	作成途中として保存されているメッセージです。このメッセージは送信されません。
		未送信メッセージ	送信待機中のメッセージです。「メール送信」をおこなうと送信されます。
		送信済みメッセージ	送信済みのメッセージのコピーです。未送信メッセージを送信するとこのアイコンに変ります。
受信箱		未読のメール	受信して、まだ読んでいないメールです。
		既読のメール	すでに読んだメールです。未読のメールを読むと、このアイコンに変ります、
		ヘッダのみのメール（未読）	ヘッダのみ受信したメール、もしくは受信制限により、メールの先頭部分のみ読み込んだ、まだ読んでいないメールです。
		ヘッダのみのメール（既読）	すでに読んだヘッダのみのメールです。未読のメールを読むと、このアイコンに変ります。

メールを作成する

❶「新規メール」ボタンをタップします。

メールの作成画面が表示されます。



AV リンクメール
メール作成画面

❷宛先のアドレス、題名、本文を入力します。

1. 宛先のアドレスを入力する。

「To:」欄に宛先のメールアドレスを入力します。

「アドレス」ボタンをタップすると、宛先をAVリンクメールのアドレス帳から選択できます。

複数の宛先に一度にメールを出す時は「H」ボタンをタップして、「Cc:」欄（メールのコピーを送付）と「Bcc:」欄（メールのコピーを送付、送付したことは他の人には通知されません）を表示して、それぞれに宛先を入力することもできます。

2. 題名を入力する。

「Subject:」欄にメールの題名を入力します。

3. 本文を入力する。

画面下の広い部分をタップしてメール本文を入力します。

❸「送信」ボタンをタップします。

「AV リンクメール」のメイン画面に戻り、書き終わったメールは、「送信箱」に置かれます。

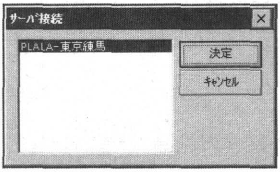
メールを送受信する

❶ メールを送受信する前に、InterLinkを電話回線に接続します。

InterLinkを電話回線、携帯電話、PHSなどに接続する方法については、107ページを参照してください。

❷「AVリンクメール」のメイン画面で「サーバ」メニューの「メール送受信」をタップします。

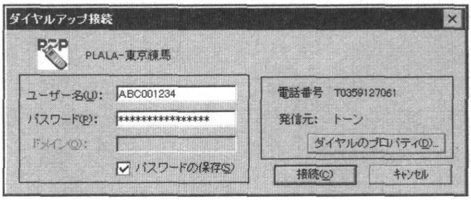
「サーバ接続」画面が表示されます。



サーバ接続画面

❸ 接続先を選んで「決定」ボタンをタップします。

ダイアルアップ接続のウインドウが表示されます。



ダイアルアップ接続画面

注意

パスワードは、入力した文字数に関わらず「パスワード」欄いっぱいに＊が表示されます。

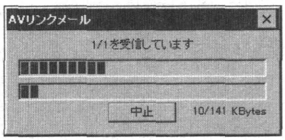
❹「接続」ボタンをタップします。

ダイアルアップ接続の状況が表示され、インターネットに接続されます。

メールを受信し、「送信箱」内のメールを送信します。



送信中画面



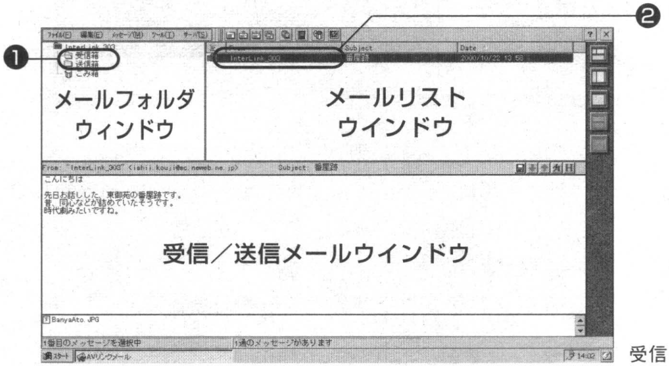
受信中画面

受信メールを読む

受信したメールは「受信箱」に保存されます。

❶「メールフォルダウインドウ」の「受信箱」をタップします。

受信箱内のメールが「メールリストウインドウ」に一覧表示されます。



受信メールを表示

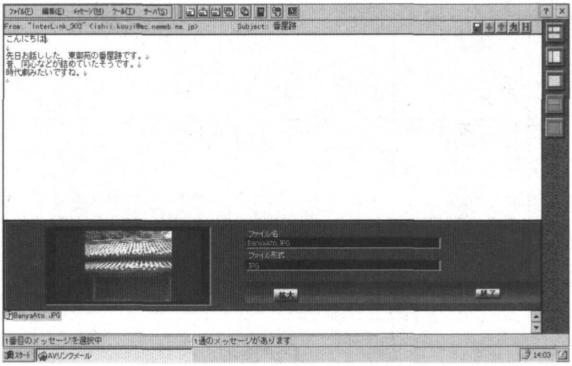
❷受信したメールをタップします。

メールの内容が下のエリアに表示されます。このエリアで表示されるのはテキストまたはHTMLメールだけです。

添付ファイルがある場合は、 アイコンで表示されます。添付ファイルをダブルタップすると、添付ファイルの内容が表示されます。

注意

添付ファイルがInterLinkで開けない形式の場合は「ファイルの保存」ダイアログが表示されます。ファイルを保存した後に、対応するアプリケーションからファイルを開いてください。



ここでは、添付ファイルのJPEG画像が表示されています。添付ファイルは、「ファイル」メニューの「ファイルのエクスポート」→「添付ファイル」を選択すると、ファイルとして保存できます。

「終了」ボタンをタップすると、もとの画面に戻ります。

メールに返信する・転送する

●返信する

メールを表示している時に、「返信」ボタンをタップすると、表示していたメールの差出人が宛先に指定され、メールの本文が引用された状態でメールの作成画面が表示されます。

●全員に返信する

複数の宛先に同時に配信されたメールに対して、全員に返信する場合はメールを表示している時に「全員に返信」ボタンをタップします。元のメールの差出人と宛先全員が指定された状態で、メールの作成画面が表示されます。

●転送する

メールを表示している時に、「転送」ボタンをタップすると、メールの本文が引用され、添付ファイルがコピーされた状態でメールの作成画面が表示されます。

Internet Explorer for Handheld PC

Internet Explorer for Handheld PC（以下IE）は、Webブラウザーです。インターネットのWebサイトを閲覧できます。

Internet ExplorerでWebを見るには

●インターネットへの接続

Webを見るには、まずインターネットプロバイダに接続します。

InterLinkを電話回線、携帯電話、PHSなどに接続します。（→107ページ）

次に、「ダイアルアップ接続（リモートネットワーク）」（→112ページ）の手順で、プロバイダに接続します。

注 意

LANで接続（→115ページ）している場合は、ダイアルアップの必要はありません。

● Internet Explorerを起動する

Internet Explorerは以下の方法で起動できます。

・イチ押しキーの を押す

・デスクトップの「Internet Explorer」アイコンをダブルタップする

・「オリジナルブックマーク」（→48ページ）から起動する

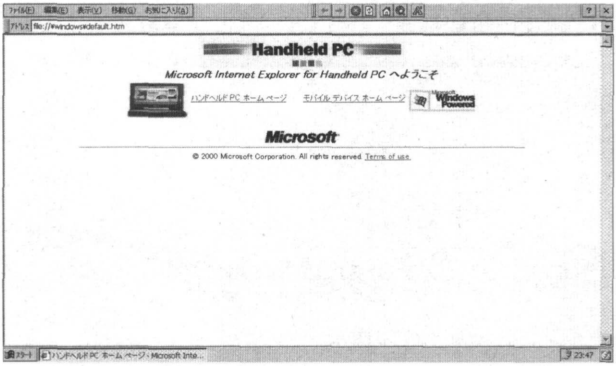
・「スタート」メニューから「プログラム」→「Internet Explorer」の順に選択する



Internet Explorer

参考

この画面は、イチ押しキー、デスクトップから起動した画面です。「オリジナルブックマーク」から起動した場合は、指定したサイトが開きます。



Internet Explorer for Handheld PC

●サイトを移動する

行きたいサイトに移動するには、大きく分けて次の4つの方法があります。

・アドレスを入力する

「アドレス」バーに、サイトのアドレス（http://www.jvc-victor.co.jp/など）を入力して「Enter」キーを押す。

・リンクをタップする

青字で示されたリンクや、画像をタップすると、リンク先に移動します。

・「オリジナルブックマーク」（→48ページ）から、サイトを選択する

・「お気に入り」メニューから選択する

参考

「オリジナルブックマーク」に登録されている内容は、「お気に入り」の「1ob」フォルダにも登録されています。
また、閲覧済みのサイトは、ツールバーの「戻る」⇦ボタンで表示することができます。

●サイトを「お気に入り」に追加する

よく訪れるサイトは「お気に入り」に登録しておくと便利です。

「お気に入り」にサイトを登録するには、そのサイトをIEで開き、「お気に入り」メニューの「お気に入りの追加」を選択します。

このとき、「お気に入り」の「1ob」フォルダに保存すると、「オリジナルブックマーク」にサイトが追加されます。

●サイトの内容を保存する

「ファイル」メニューの「名前を付けて保存」を選択すると、表示しているサイトの内容を保存できます。ただし、保存されるのはhtmlファイルだけで、表示している画像などは保存されません。

●インターネットへの接続を切断する

Webの閲覧が終ったら、タスクトレイの「接続」アイコンをダブルタップして表示されるメニューから「切断」を選びます。

インターネットへの接続が切れたら、接続ケーブルを外します。

注意

本機使用のInternet Explorer for Handheld PCは、[Alt]キーを押しながらタップしても、ポップアップメニューは表示されません。

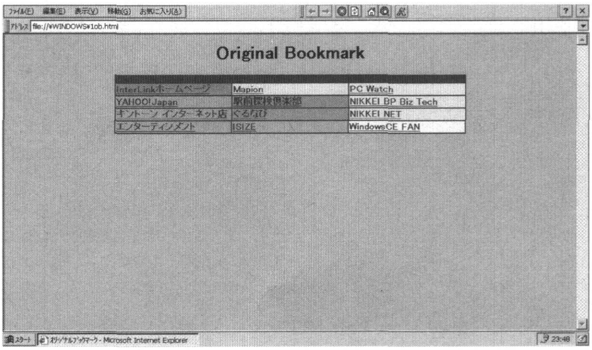
オリジナルブックマーク

「オリジナルブックマーク」は、よく行くサイトや便利なサイトを登録しておいて、「お気に入り」をビジュアルに表示したり、指定したサイトを自動巡回してInterLinkに保存し、インターネットに接続していないときでも保存したサイトを表示できます。
「オリジナルブックマーク」はIEを利用してサイトにアクセスする「ラウンチモード」とパネルを編集したり自動巡回をする「編集モード」があります。

ラウンチモード

「ラウンチモード」では、「お気に入り」の「lob」フォルダの内容をビジュアルに表示し、また「編集モード」で保存したサイトの一覧を表示します。

- **ラウンチモードで起動する**
  イチ押しキーの を押します。
  または「スタート」メニューから「InterLinkユーティリティ」→「オリジナルブックマーク」の順に選択します。

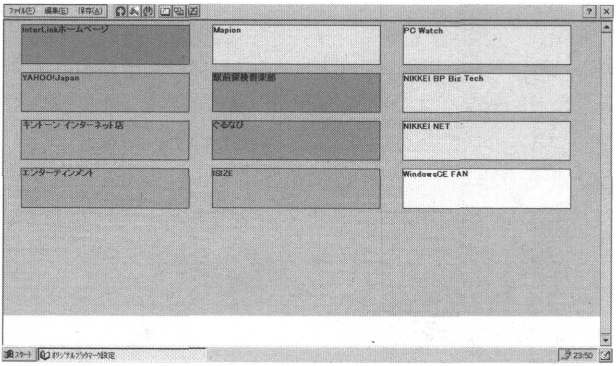


オリジナルブックマーク
ラウンチモード

「オリジナルブックマーク」が「ラウンチモード」で起動します。
初期状態では、「保存結果一覧」以下は空白になっています。この状態でできることは、インターネット接続中にリンク先に移動することです。
リンクをタップするとIEが起動し、「オリジナルブックマーク」の内容が表示されます。

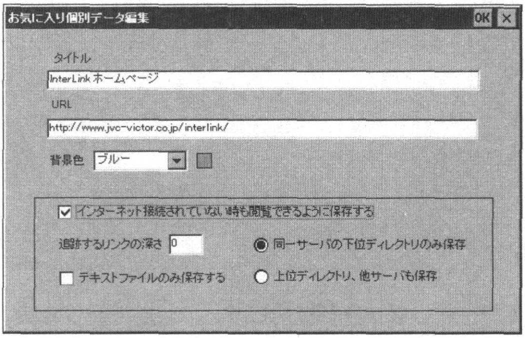
編集モード

「Shift」キーを押しながらイチ押しキーのを押します。
「オリジナルブックマーク」が「編集モード」で起動します。



オリジナルブックマーク
編集モード

ここで、パネルをダブルタップすると、「お気に入り個別データ編集」画面が表示されます。



お気に入り
個別データ編集

> **参考**
>
> 「追跡するリンクの深さ」は0のまま、あるいは1までで使用することをおすすめします。深い階層を指定すると、予想外に大量のサイトを巡回する場合があります。

ここで、タイトル、リンク先のアドレス背景色が設定できます。

「インターネット接続されていない時も閲覧できるようにする」のチェックをオンにすると、そのサイトを「オリジナルブックマーク」で自動巡回して、サイトのデータをオフラインで閲覧できるようになります。

「OK」ボタンをタップすると「編集モード」に戻ります。チェックをオンにしたサイトのパネルの左下には□マークがつきます。

● **Webの自動巡回**

前項の手順で保存したいサイトの選択が終了したらインターネットに接続します。

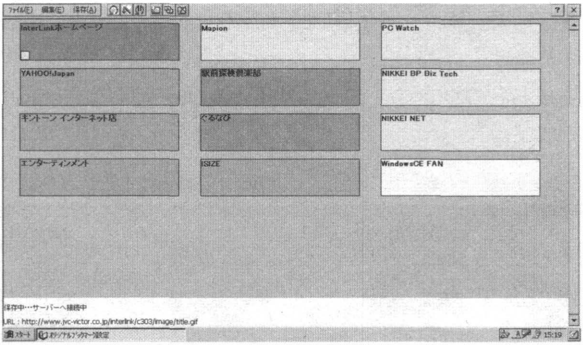
❶ **InterLinkを電話回線、携帯電話、PHSなどに接続します。(→ 107ページ)**

「ダイアルアップ接続(リモートネットワーク)」(→ 112ページ)の手順で、プロバイダに接続します。

❷ **インターネットに接続したら、「保存」メニューの「一括保存」を選択します。**

「一括保存を実行しますか」とメッセージが表示されます。

「はい」ボタンをタップすると、□の付いたサイトすべてを自動巡回して、サイトを保存します。



オリジナルブックマーク
保存中

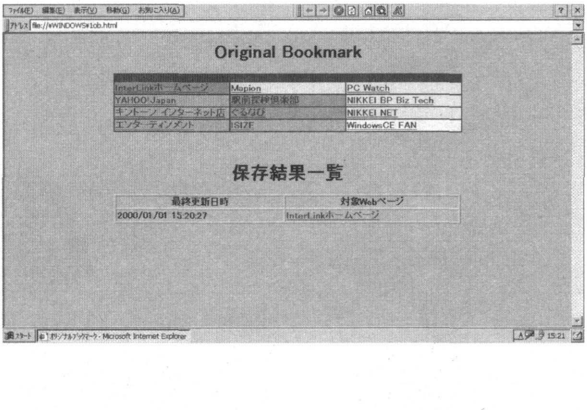
❸「保存が終了しました」とメッセージが表示されたら、インターネットの接続を切断します。

サイトを保存したら、「ファイル」メニューの「終了」を選択して「オリジナルブックマーク」の「編集モード」を終了します。

> **参考**
>
> 保存の設定済みのサイトのパネルをタタップして、「保存」メニューの「選択したURLを保存」を選択すると、そのサイトだけを保存することもできます。

●**オフラインでサイトを閲覧する**

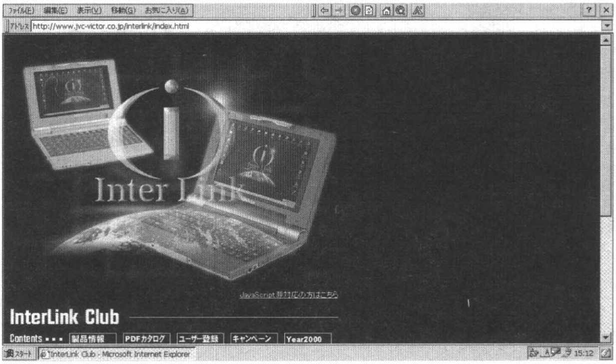
前項の手順で自動巡回したあとに、「オリジナルブックマーク」を「ラウンチモード」で起動します。このとき、インターネットに接続する必要はありません。



注 意

インターネットに接続されていない場合は保存したサイトの追跡したリンク以外は表示されません。
また、インターネット接続時は、それ以外のリンクも見ることができますが、データをダウンロードするため、表示されるまでに時間がかかります。

保存結果一覧に、保存したサイトの名前と、更新時刻が表示されます。
サイト名のリンクをタップすると、サイトの内容が表示されます。



表示されたホームページ

Pocket Outlook（予定表・仕事・連絡先・受信トレイ）

InterLinkにはMicrosoft社製のPocket Outlookが搭載されています。

Pocket Outlookは、予定表・仕事・連絡先といった個人情報の管理機能と、受信トレイ（メールソフト）の機能があります。

Pocket Outlookは、PCのOutlook 97または2000と同期できます。（Outlook Expressには対応していません）これにより、常に最新の情報を保つことができます。また、PCのOutlookにアドレス帳のデータがある場合は、データを再入力することなく、PCのデータをそのまま使用できます。

参考

Outlook 2000は、付属のMicrosoft ActiveSync CD-ROMからインストールできます。

予定表

予定表は、スケジュール管理ソフトです。

打ち合わせや会議の予定を入力します。入力したスケジュールは日・週・計画表を切替えて表示できます。

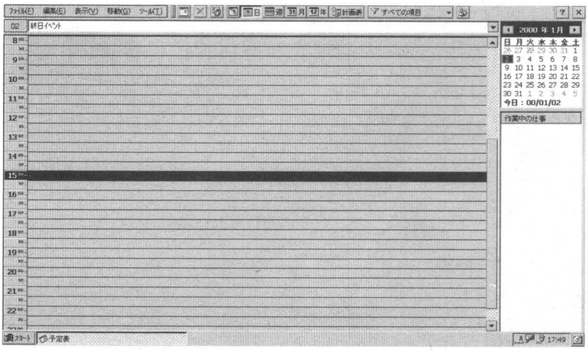
●予定表の起動

イチ押しキーの▦を押すか、またはデスクトップの「予定表」アイコンをダブルタップします。

「予定表」画面が開きます。



予定表



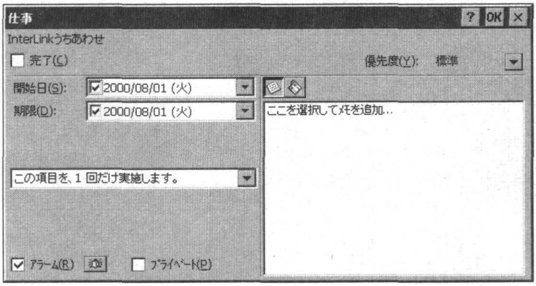
予定表

初期設定では当日の予定表が表示されます。日・週・月・年の表示は、画面上部の「日」「週」「月」「年」のアイコンをタップして切替えます。

●予定の入力

「ファイル」メニュー→「新規予定」を選択します。また、一日かかる予定を入力する場合は、「ファイル」メニューの「新規終日イベント」を選択します。

「予定」画面が開きます。スケジュールの内容を入力します。



仕事

開始日と終了日・時間を入力します。「新規終日イベント」を選んだ場合は、時間は入力できません。

予定にはアラームを設定できます。プライベートの予定を指定できます。プライベートを指定すると、PCのOutlookと同期し、その予定がLANなどで共用されている場合も他のユーザーには公開されません。

予定にはメモ、分類、連絡先が追加できます。

予定を入力したら「OK」ボタンをタップします。入力した予定が追加されます。

仕事

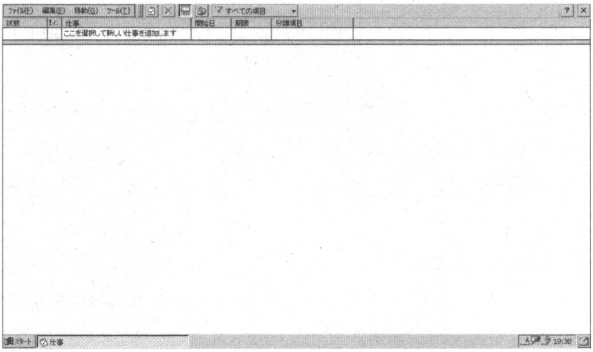
仕事は、期間があるスケジュールの管理ソフトです。「○月○日までに企画書作成」といった日程の必要な予定を入力します。

●仕事の起動と仕事の入力

デスクトップの「仕事」アイコンをダブルタップします。「仕事」画面が開きます。



仕事



仕事画面

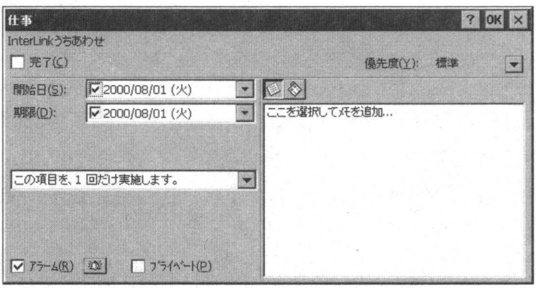
入力済みの仕事が一覧で表示されます。

●仕事の入力

新たに仕事を追加するには「ここを選択して新しい仕事を追加します」のフィールドをタップします。

●仕事の編集

入力済みの仕事一覧から編集したい仕事をダブルタップします。



入力した仕事は、カレンダーでも表示されます。

開始日と終了日を入力します。

・予定にはアラームを設定できます。

・仕事が終了した場合は、「完了」マークをチェックします。

登録済みの仕事を修正する場合は、修正したい仕事をダブルタップします。

入力と同じ画面が開いて修正できます。

連絡先

連絡先は名前の通り、住所録です。

「AV リンクメール」や「受信トレイ」と連動し、アドレス帳から選択した宛先に電子メールを送ったり、「予定表」の「連絡先」と連動してスケジュールの連絡を送ることもできます。

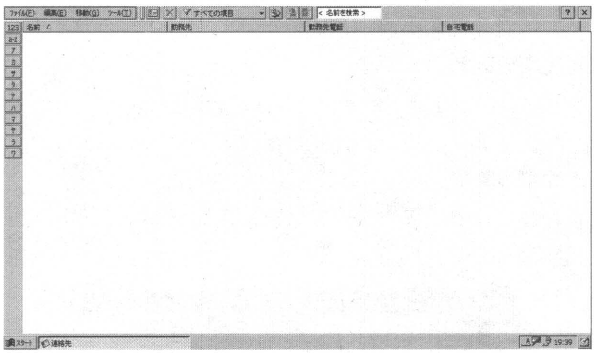
●連絡先の起動



連絡先

デスクトップの「連絡先」アイコンをダブルタップします。

「連絡先」画面が開きます。



連絡先

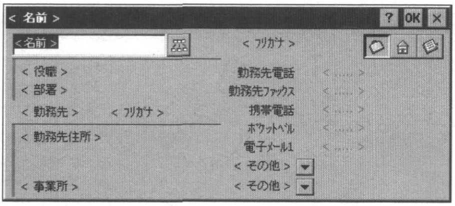
画面左のタブをクリックすると、名前の読みの該当部分にジャンプします。

名前・電話番号等をクリックすると、並べ替えて表示できます。

●連絡先の追加と編集

新しい連絡先を登録するには「ファイル」メニュー→「新規作成」を選択します。

＜名前＞画面が表示されます。



＜名前＞画面

名前、自宅・勤務先の電話番号、住所、メールアドレス等が登録できます。

登録済みのアドレスを修正する場合は、修正したいアドレスをダブルタップします。入力と同じ画面が開いて修正できます。

●電子メールの作成

アドレスを選択して「メール」ボタンをタップします。

自動的に宛先が指定された状態で「受信トレイ」のメール作成画面が開きます。

メールの送信については、「受信トレイ」の項目（次項）をご参照ください。

受信トレイ

「受信トレイ」はMicrosoft社製の電子メールのソフトウェアです。インターネットメールの送受信ができるほか、PCと同期すると、PCで受信したメールの内容を取り込むことができます。

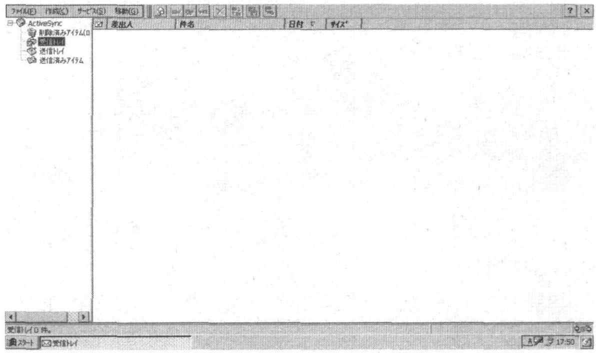
また、受信トレイはLAN接続（→115ページ）でも使用できます。

●受信トレイを起動する



デスクトップの「受信トレイ」アイコンをダブルタップします。

受信トレイが表示されます。



受信トレイ

メールを送受信するプロバイダ（この例では「POP3メール」）の左側の＋をタップします。

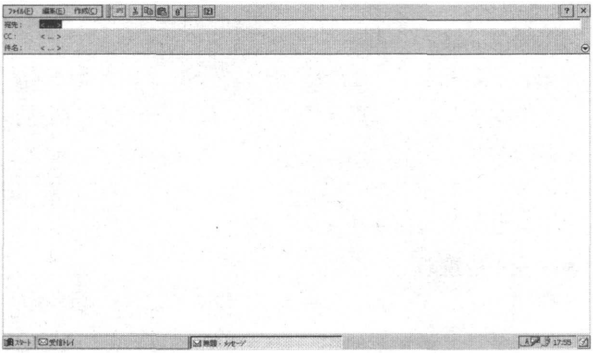
選択したプロバイダの「受信トレイ」「送信トレイ」等が表示されます。「受信トレイ」を選択します。

受信したメールの一覧が表示されます。

受信したメールは、「差出人」「件名」「日付」「サイズ」の順に並び替えることができます。「差出人」順にメールを並び替えるには、「差出人」のタイトル欄をタップします。日付、件名などの場合も同様にタイトル欄をタップします。

●メールを作成する

「メッセージ作成」ボタンをタップすると、「メッセージの作成」画面が表示されます。



メッセージの作成

画面上部の入力欄に「宛先」「cc:」「件名」を入力します（「cc:」は必要に応じて入力します）。「アドレス帳」ボタンをタップすると、登録しているメールアドレスから宛先のアドレスを選択することができます。

メッセージの本文を下の入力欄に入力します。

作成が終了したら、「送信」ボタンをタップします。作成されたメッセージは「送信トレイ」に置かれ、インターネットに接続して、メールの送受信をおこなったときに送信されます。

●電子メールの送信・受信

メールを送受信するには、まずインターネットプロバイダに接続します。

InterLinkを電話回線、携帯電話、PHSなどに接続します。（→ 107ページ）

次に、「ダイヤルアップ接続（リモートネットワーク）」（→ 112ページ）の手順で、プロバイダに接続します。

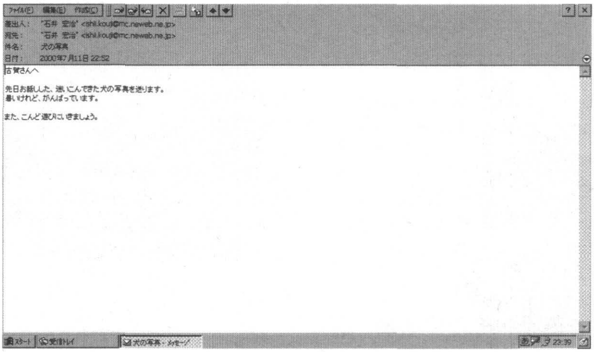
注意

LANで接続（→ 115ページ）している場合は、ダイヤルアップの必要はありません。

「受信トレイ」画面で「接続」ボタンをタップします。
「送信トレイ」内のメールを送信し、続いてプロバイダに届いているメールを受信します。
「★通のメールを受信しました」と表示されると、メールの受信は終了です。
メールの受信が終ったら、タスクトレイの「接続」アイコンをタップして表示されるメニューから「切断」を選びます。
インターネットプロバイダへの接続が切れたら、接続ケーブルを外します。

●メールを読む

「受信トレイ」のメイン画面で、受信したメールのタイトルをダブルタップすると、メールの内容の全文が表示されます。



メールの表示

複数のメールがある場合は、「↑」ボタンで前のメールを、「↓」ボタンで次のメールを読むことができます。

メールに返信する

「返信」ボタンをタップすると、差出人が宛先に指定されたメール作成画面が開き、メールの返信を作成できます。

全員に返信する

「全員返信」ボタンをタップすると、差出人および元のメールの宛先全員が宛先に指定されてメール作成画面が開き、メールの返信を作成できます。

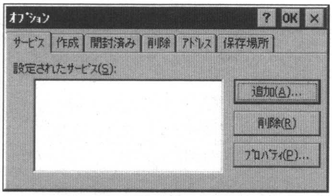
転送する

メールを他の人に転送するときは、「転送」ボタンをタップします。メールの全文がコピーされたメールの作成画面が開きます。

●メールの設定（「サービス」の設定）

「受信トレイ」のメールの設定は、「オプション」画面でおこないます。

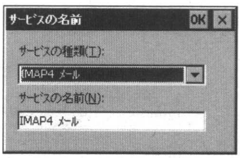
「受信トレイ」のメイン画面で「サービス」メニュー→「オプション」をタップすると、「オプション」画面が表示されます。



オプション

「追加」ボタンをタップします。

「サービスの名前」画面が表示されます。



サービスの名前

追加するサービスの名前と種類（POP3、IMAP4）を選択します。一般的なプロバイダでは「POP3」を使用しています。

「サービスの名前」にはプロバイダ名など、わかりやすい名前をつけてください。

「インターネットメールサービスの定義」画面でおこなう設定の詳細については、「?」ボタンをタップして表示されるヘルプをご参照ください。

●**メールを削除する**

不要なメールを削除するには、「受信トレイ」のメイン画面でメールを選択して「削除」ボタンをタップします。削除したメールは、「削除済みアイテム」に移動されます。

Pocket Outlook を PC と同期する

PC と接続すると（接続の手順→ 17 ページ）、「予定表」「仕事」「連絡先」の内容や「受信トレイ」のメールを同期できます。

これにより、PC で入力したアドレスやスケジュールを外出時に InterLink で参照したり、外出先で InterLink に入力したアドレスや予定を PC 側に更新できます。

同期することで PC と InterLink 両方の内容を同一に保ち、常に最新の内容を持ち歩くことができます。

また、同期によって、PCにInterlinkのアドレス・タスク・メールなどのデータが保存され、バックアップにもなります。

●**パートナー関係**

PC と同期するには、PC と「パートナー関係」を設定する必要があります。

「パートナー関係」を設定するには、「新しいパートナー関係ウィザード」を使用して「受信トレイ」の同期を設定します。最初に InterLink を ActiveSynk3.1 で PC に接続した際に自動的に起動されます。

●**受信トレイの同期**

InterLink の「受信トレイ」は、PC と同期して電子メールを受け取るように初期設定されています。

初期設定では「受信トレイ」のメッセージは、過去 3 日間に受信したメッセージの最初の 100 行が同期されます。

同期の設定を変更するには、PC の ActiveSync で「詳細」メニュー の「受信トレイ」 を開いて設定します。

ポケットオフィス（オフィスコンパニオン）

ポケットオフィス(オフィスコンパニオン)は、PCのMicrosoftOfficeをハンドヘルドPC向けに機能を軽減したビジネスソフトです。

Pocket Word

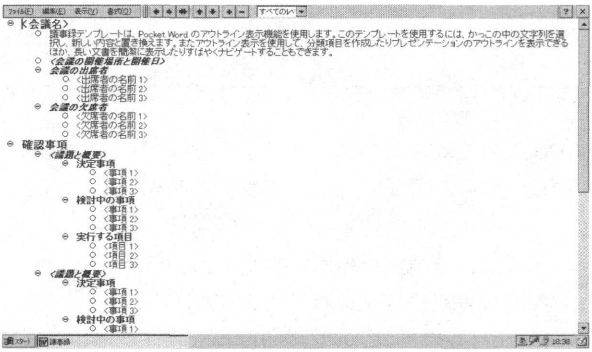
Pocket Wordは、Windows 98/95上のWord 97(98)/2000と互換のワープロソフトです。

● Pocket Wordを起動する。

イチ押しキーの **W** を押すか、またはデスクトップの「Pocket Word」アイコンをダブルタップします。Pocket Wordの画面が開きます。



Microsoft Pocket Word



Pocket Word
（付属テンプレート読込時）

● Pocket Wordの特長

- Word 97(98) / 2000形式のファイルを開いたり、保存できます。
- 図形は扱えません。
- マクロ機能は搭載されていません。
- 通常の画面と、アウトライン形式で操作できます。
- 表作成、罫線の機能は搭載されていません。
- 画面を50%～200%の間で表示倍率を変更でき、タスクバー、メニューバー、スクロールバーの表示／非表示の切り替えなど、InterLinkの画面を有効に活用できます。

参考

マクロ機能がないため、Microsoft Word用のマクロウイルスには感染しません。

Pocket Excel

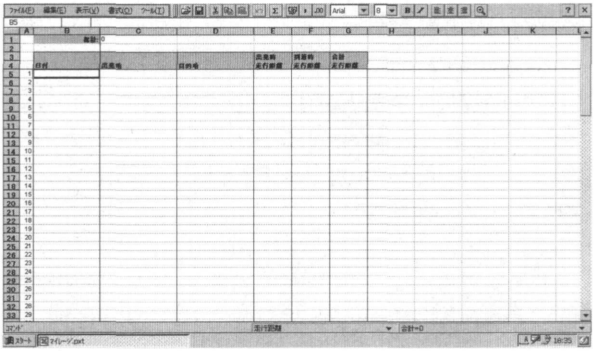
Pocket Excelは、Windows 98/95のExcel 97/2000と互換の表計算ソフトです。

● Pocket Excelを起動する。



Microsoft
Pocket Excel

イチ押しキーの を押すか、またはデスクトップの「Pocket Excel」アイコンをダブルタップします。Pocket Excelの画面が開きます。



Pocket Excel
（付属テンプレート読込時）

● Pocket Excelの特長

・Excel 97/2000形式のファイルを開いたり、保存できます。
・グラフ作成機能は搭載されていません。
・マクロ機能は搭載されていません。
・Excel 97/2000のセルの書式にはサポートされないものがあります。サポートされない書式は、読込時にPocket Excelの形式に変更されます。
・109種類の関数をサポートしています（詳しくはヘルプを参照してください）。

参考

マクロ機能がないため、Microsoft Excel用のマクロウイルスには感染しません。

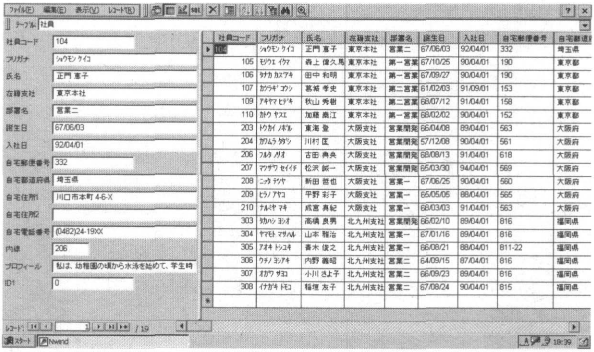
Pocket Access

● Pocket Access を起動する

デスクトップの「Pocket Access」アイコンをダブルタップします。Pocket Access の画面が開きます。



Microsoft Pocket Access



Pocket Access
（付属サンプル表示）

● Pocket Access の特長

- ・データベースのテーブルの更新、クエリーの実行ができます。
- ・データベースの登録レコードは、最大で 65536 レコードとなります。

詳しくはヘルプを参照してください。

Pocket Power Point

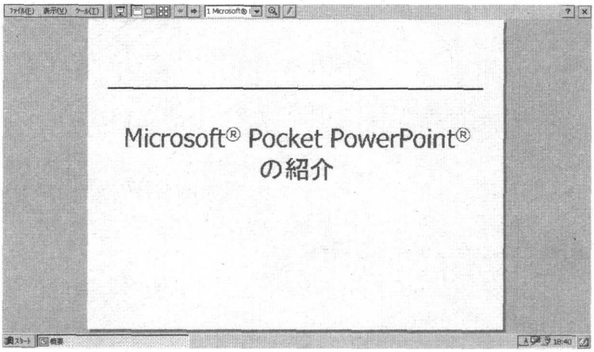
Pocket Power Pointを使用すると、Microsoft Power Pointで作成したデータを取込み、InterLinkで表示ができます。

● **Pocket Power Pointを起動する。**



Microsoft Pocket PowerPoint

デスクトップの「Pocket Power Point」アイコンをダブルタップします。Pocket Power Pointの画面が開きます。



Pocket Power Point
(付属サンプル表示時)

● **Pocket Power Pointの特長**

InterLinkでPower Pointのデータを持ち運んでプレゼンテーションをおこなえます。

スライドの順序・表示タイミングは変更できます。

また、外部ディスプレイ接続ケーブル(QAM0325-001、サービス対応補修部品)を使って拡張コネクターにディスプレイを接続すると、モニターやプロジェクターに出力できます。また、この場合は、800×600ドットの出力ができます。

アクセサリ

AV リンクコマンダー



AV リンクコマンダーは、InterLink を各種 AV 機器の赤外線リモコンとして使用するソフトウェアです。

❶デスクトップの「AV リンクコマンダー」のアイコンをダブルタップします。

「AV リンクコマンダー」の画面が表示されます。

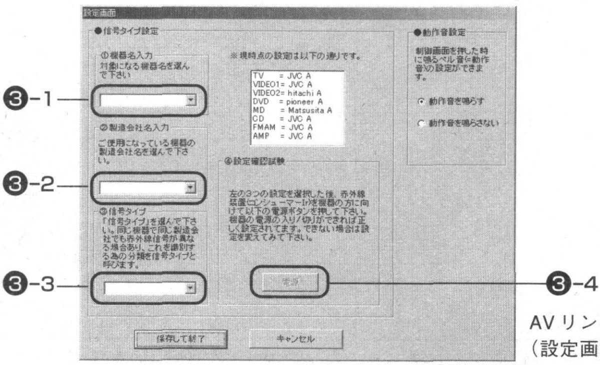


AV リンクコマンダー
（メイン画面）

❷「AV リンクコマンダー」を設定します。

「AV リンクコマンダー」を使うには、お使いの TV やビデオに合わせた設定を行なう必要があります。

画面右上の白字の「設定」をタップします。設定画面が表示されます。



AV リンクコマンダー
（設定画面）

注 意

操作する機器にボタンに対応する機能がない場合は、ボタンをタップしても作動しません。また、機器によっては動作しない場合があります。あらかじめご了承ください。

❸操作する機器を選択します。

1. 操作する機器を選ぶ

「機器名入力」欄の横の▼をタップすると、操作対象となる機器のリストが表示されます。「テレビ」「ビデオ」「DVD」「MD」「CD」「FM/AM」から選びます。

2. 機器のメーカーを選ぶ

「製造会社名入力」欄の横の▼をタップし、表示されるリストから操作する対象の機器のメーカー名をタップします。

3. 信号タイプを選ぶ

「信号タイプ」欄の横の▼をタップして、信号タイプを選びます。選択項目が複数あってわからない場合は一番上の「.....A」を選びます。

4. リモコンをテストする

InterLinkの左側にある赤外線ポートを操作する機器に向けて、「設定確認試験」欄の「電源」ボタンをタップします。

機器の電源のオン／オフが操作できれば、テストはOKです。手順5「設定を終了する」に進みます。オン／オフしない場合は、手順3で信号タイプを選びなおし、再びテストします。

5. 設定を終了する。

「保存して終了」ボタンをタップします。「AVリンクコマンダー」の画面に戻ります。「キャンセル」ボタンをタップすると、保存されません。

❹「AVリンクコマンダー」で操作します。

InterLinkの赤外線ポートを操作する機器に向けて、「電源」などの各ボタンをタップします。

● AVリンクコマンダー適用メーカー一覧

製造された年代や機種によっては対応できないものもあります。

また、対応メーカーは変更される場合がありますので、詳しくは弊社ホームページをごらんください。

テレビ	ビクター、松下、アイワ、サンヨー、シャープ、ソニー、東芝、日立、三菱
ビデオ	ビクター、松下、アイワ、サンヨー、シャープ、ソニー、東芝、日立、フナイ、三菱
DVD	ビクター、松下、シャープ、ソニー、東芝、パイオニア
CD・MD・アンプ	ビクター、松下、オンキョー、ケンウッド、ソニー、デンオン、パイオニア、ヤマハ
FM/AMチューナー	ビクター、松下、オンキョー、ケンウッド、ソニー、デンオン、パイオニア

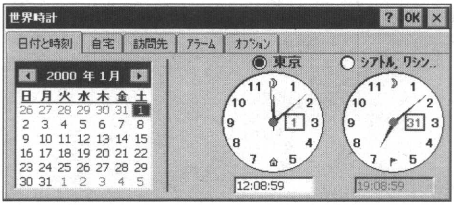
世界時計

世界時計には、カレンダー表示、二地点の時刻表示と、アラームの機能があります。

●「世界時計」を起動する

「スタート」メニューから「プログラム」→「アクセサリ」→「世界時計」の順に選択します。

「世界時計」画面が表示されます。



世界時計（日付と時計）

右側の時計の地域は、「訪問先」タブをタップして選べます。海外旅行に行く場合や、海外との取引先との時間確認に便利です。

●アラームをセットする。

「アラーム」タブをタップすると、アラームの設定画面が表示されます。



世界時計（アラーム）

アラームの内容と時刻を5つまでセットできます。

セットした時刻になると、画面にアラームのウインドウが表示され、サウンドが鳴ります。また、アラームランプが赤く点滅します。サウンドやアラームは「オプション」ボタンで設定できます。

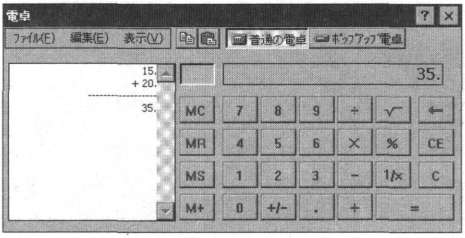
電卓

電卓の計算結果をクリップボードに送ることもできます。

●**「電卓」を起動する**

「スタート」メニューから「プログラム」→「アクセサリ」→「電卓」の順に選択します。

「電卓」画面が表示されます。



電卓

計算の経過と結果は、左のウインドウに表示されます。「編集」メニューの「コピー」を選ぶと、計算結果がクリップボードに送られます。

「ポップアップ電卓」ボタンをタップすると、キーパッドのない電卓になります。「ポップアップ電卓」では、キーボードで入力します。

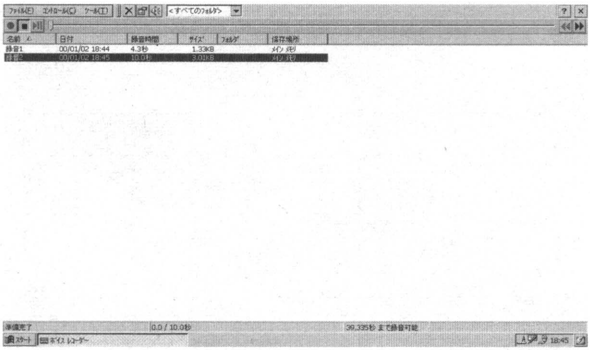
ボイスレコーダー

録音機です。ボイスレコーダーから録音／再生ができます。

●「ボイスレコーダー」を起動する

「スタート」メニューから「プログラム」→「アクセサリ」→「Microsoft ボイスレコーダー」の順に選択します。または「Ctrl」キーを押しながらイチ押しキーの を押します。

「ボイスレコーダー」画面が表示されます。



ボイスレコーダー

再生するデータをリストから選びます。

・録音・再生・停止といったコントロールは、メニューバーの下のボタンで操作します。

●	録音
■	停止
▶	再生

(スライダー)	再生位置の変更
◀◀	巻き戻し
▶▶	早送り

●録音音声の形式を選ぶ

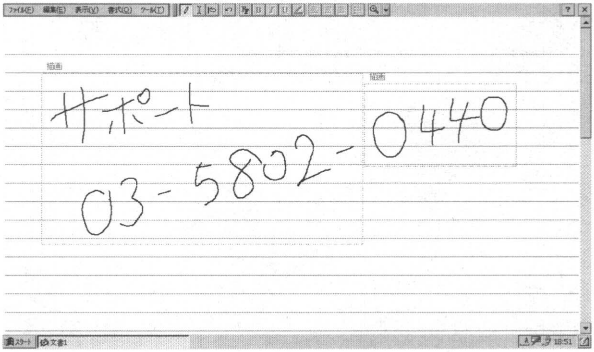
「ツール」メニューの「録音形式」を選択すると、録音のオーディオ形式を選択できます。

InkWriter

手書き入力のできるワープロです。
文字以外に、スタイラスによる手書き入力で、図形をあつかうことができます。

●「インクライター」を起動する

「スタート」メニューから「プログラム」→「アクセサリ」→「InkWriter」の順に選択します。
「InkWriter」画面が表示されます。



InkWriter

詳しくはヘルプを参照してください。

ターミナル

「ターミナル」はVT100エミュレーターです。ターミナルエミュレーションが必要な場合だけ使用します。

●「ターミナル」を起動する

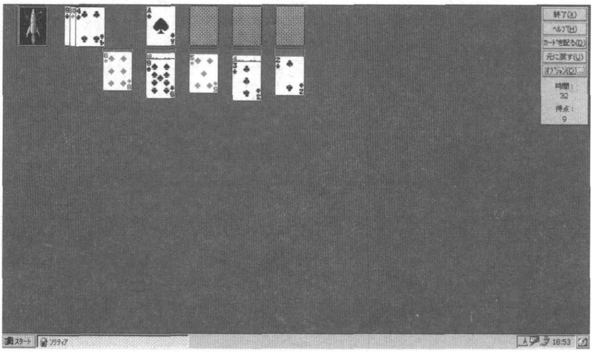
「スタート」メニューから「プログラム」→「通信」→「ターミナル」の順に選択します。
「ターミナル」画面が表示されます。
通信をおこなう時は、「新しいセッション」を選び、通信セッションを定義します。
詳しくはヘルプを参照してください。

ソリティア

ソリティアはトランプの一人遊びゲームです。

●「ソリティア」を起動する

「スタート」メニューから「プログラム」→「ゲーム」→「ソリティア」の順に選択します。
「ソリティア」画面が表示されます。

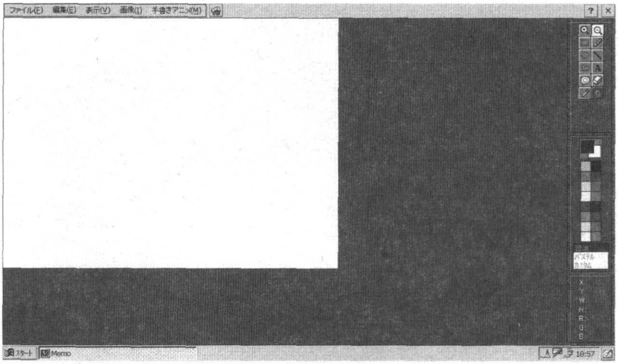


ソリティア

ゲームのルールについての詳細はヘルプを参照してください。

クイックメモ

イチ押しキーの を押すと、画像ソフトウェア「ピクチャーパレット」が、「新規ファイル」の作成状態で起動します。
画面にスタイラスでメモを書いたり、簡単な図を作成するのに便利です。
メモの内容は「ファイル」メニューの「名前を付けて保存」で保存します。保存したメモは「ピクチャーパレット」や「ピクチャーアルバム」で表示したりして利用できます。

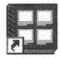


クイックメモ

 ボタンをタップして終了すると、「このメモを保存しますか」とダイアログに表示されます。「はい」をタップするとメモが保存されます。「Shift」キーを押しながら を押すと、メモの一覧を見ることができます。一覧上のメモをダブルタップすると、メモの内容を見ることができます。

画像ソフト

ピクチャーアルバム



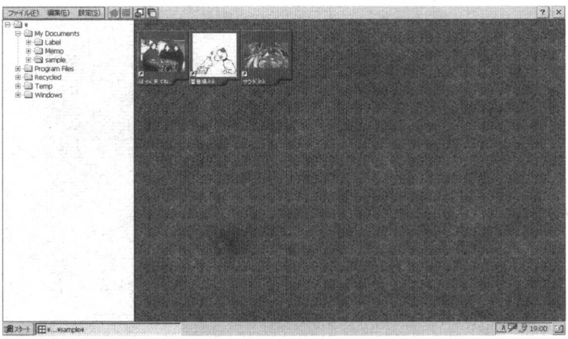
ピクチャーアルバムは、電子アルバムのソフトウェアです。画像ビューアーとして、また画像管理ソフトウェアとして使用できます。

❶ **イチ押しキーの ⊞ を押すか、またはデスクトップの「ピクチャーアルバム」アイコンをダブルタップします。**
ピクチャーアルバムが起動します。

❷ **画像のあるフォルダをタップします。**
フォルダを選ぶと、そのフォルダ内の画像のサムネイル（小さく表示されたサンプル）が表示されます。

1. フォルダを展開する／折り畳む
フォルダの左に「+」マークがついている場合は、フォルダ内にさらにサブフォルダがあります。「+」マークをタップすると、フォルダが展開されます。
展開されたフォルダ内のサブフォルダをタップすると、そのフォルダが選択されます。
展開されたフォルダの左側の「−」マークをタップすると、そのフォルダの表示を折り畳みます。

2. フルスクリーンで画像を見る
画像をダブルタップすると、フルスクリーンで表示します。
動画の表示もできます。



ピクチャーアルバム

●画像を移動する
サムネイルの画像を左のフォルダツリーの移動先のフォルダにドラッグ＆ドロップします。

はじめに
ハンドヘルドPCの基礎
データのバックアップ
付属アプリケーション
ハードウエアの取り扱い
ネットワークの設定
困ったときは
付録

●画像をコピーする

サムネイルの画像をタップして選択し、編集メニューの「コピー」を選びます。移動先のフォルダをタップして選択し、編集メニューの「貼り付け」を選びます。

●画像を削除する

サムネイルの画像をタップして選択し、編集メニューから「削除」を選びます。

●画像の名前を変更する

サムネイルの画像を「Alt」キーを押しながらタップします。「画像情報」をタップすると「画像情報」ダイアログが表示されるので、「ファイル名」の欄に新しい名前を入力します。

スチルキャプチャー



ｽﾁﾙｷｬﾌﾟﾁｬｰ

スチルキャプチャーでは、USBキャプチャーカメラ（別売）、IrTran-P対応のデジタルスチルカメラ、JLIP対応のビデオ機器から静止画を取り込めます。

● USBキャプチャーカメラから画像を取り込む場合

❶ USBカメラを接続して、デスクトップの「スチルキャプチャー」アイコンをダブルタップします

後ろにピクチャーアルバムが、手前にスチルキャプチャーが起動します。



スチルキャプチャー

カメラからの画像が中央のスクリーンにリアルタイムで表示されます。

❷「取り込み」●ボタンをタップします。

画像が撮影され、撮影した画像は、後ろのピクチャーアルバム画面にサムネイル表示されます。

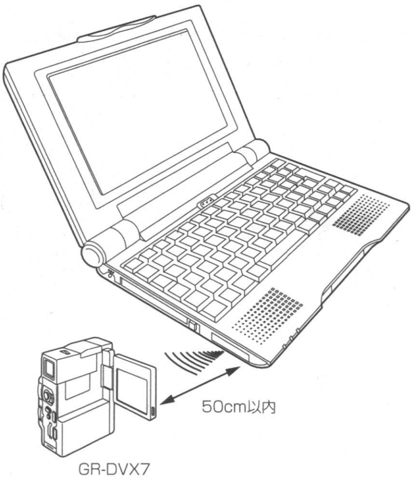
❸「取り込み機器」「取り込みモード」「取り込みサイズ」のボタンをタップします。

画像のモードを変更できます。

右上の×ボタンをタップすると、スチルキャプチャーが終了し、ピクチャーアルバムの画面になります。ピクチャーアルバムを終了すると、スチルキャプチャーも終了します。

●赤外線対応のデジタルスチルカメラから取り込む場合

InterLink本体左側の赤外線ポートをデジタルスチルカメラの赤外線ポートが向き合うように置きます。

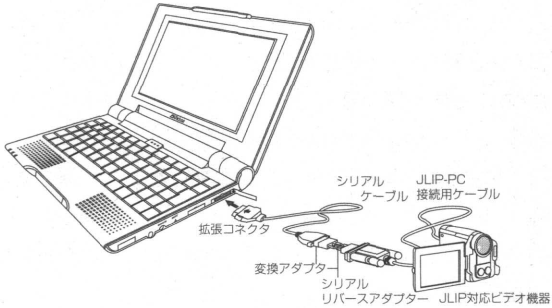


スチルキャプチャーを起動し、「取り込み機器」の「USBキャプチャーカメラ」ボタンをタップし、「IrTran-P」を選びます。

「取り込み」●ボタンをタップし、デジタルスチルカメラで転送の操作をおこないます。

●JLIP対応のビデオ機器から取り込む場合

拡張コネクタに付属のシリアルケーブルとJLIPケーブルを使用して、JLIP対応のビデオ機器を接続します。



スチルキャプチャーを起動し、「取り込み機器」の「USBキャプチャーカメラ」ボタンをタップし、「JLIP」を選びます。さらに、「機器選択」ボタンをタップして、表示されるウィンドウで、接続するビデオの機種を選び、「OK」ボタンをタップします。

取り込みたい画像が表示されている場面でビデオ機器の画像を一時停止して、「取り込み」 ボタンをタップします。

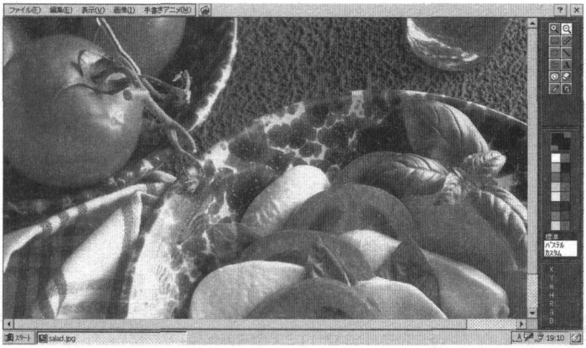
ピクチャーパレット

ピクチャーパレットは、グラフィックソフトです。絵を描いたり、写真にちょっとしたコメントを付けたりするのに便利です。



❶デスクトップの「ピクチャーパレット」アイコンをダブルタップします。

ピクチャーパレットが起動されます。



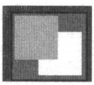
ピクチャーパレット

❷ 右側のコントロールパレットをタップしてツールを選択します。

画像に絵や文字を入れます。
それぞれのアイコンの機能は以下の通りです。

- ズームイン（拡大）
- ズームアウト（縮小）
- 矩形の領域を選択する
- ペンで描く
- 楕円の領域を選択する
- 直線を描く
- 自由図形の領域を選択する
- 文字を描く
- ふきだしを描く
- 消しゴム(背景色で絵を消す)
- 画面から色を取得
- 塗りつぶし

アイコンをタップすると、そのコマンドで選べる操作が表示されます。
文字や色は、右下のパレットの「前景色」で描かれます。
消しゴムで消すと、背景色になります。



←前景色
←背景色

●メールに添付する

「メール」ボタンをタップすると、作成した画像を添付ファイルとして、「AV リンクメール」（→ 39 ページ）が起動され、画像を送信できます。

●ファイルを保存する

「ファイル」メニューの「上書き保存」または「名前を付けて保存」を選んで、作成した画像を保存します。

サウンドソフト

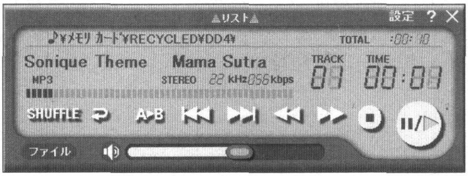
AVリンクジュークボックス

AVリンクジュークボックスは、サウンドとビデオのプレーヤーのソフトウェアです。
InterLink内のサウンド／ビデオのファイルをリストにして連続再生できます。



AVリンク
ジュークボックス

❶ **デスクトップの「AVリンクジュークボックス」アイコンをダブルタップします。**
AVリンクジュークボックスが起動します。



AVリンクジュークボックス
（メイン画面）

> **注意**
> midファイルを再生するには、付属のアプリケーションCD-ROMから音源データをインストールする必要があります。

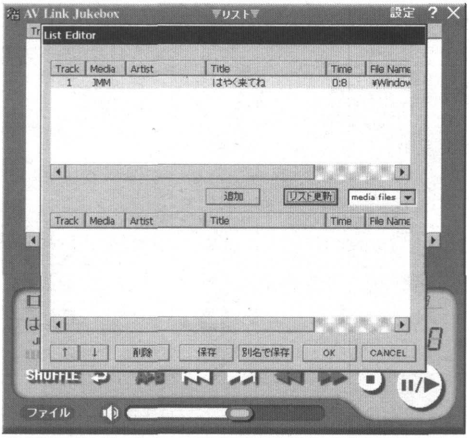
左下の「ファイル」ボタンをタップするとファイルの選択画面が表示されます。ここで、メディアファイル（音楽データ;mp3, mid, jmm, asfの各形式）またはプレイリストを読み込めます。

❷ **図面上部の「▲リスト▲」をタップします。**
リスト表示が展開されます。



AVリンクジュークボックス
プレイリスト

プレイリストに曲を加えたり、リストの順番を並べ替えるといった操作は「リスト編集」画面でおこないます。



リスト編集

❸「リスト編集ボタン」をタップします。

「リスト編集」画面が表示されます。

リストの下には選択したメディアファイルが表示され、上にはInterLink内に保存されているメディアファイルのリストが表示されます。

1. リストにメディアファイルを追加する

追加するメディアファイル名をタップして、「追加」ボタンをタップするとリストにメディアファイルが追加されます。

2. リストを保存する

「保存」ボタンをタップすると、リストをファイルとして保存します。保存したリストを読み込むには、AVリンクジュークボックスメイン画面左下の「ファイル」ボタンをタップします。

3. メイン画面に戻る

「OK」ボタンをタップすると、メイン画面に戻り、リストを更新します。

❹再生の操作は画面下のボタンでおこないます。

ボタン	機能
▶	再生
II	一時停止
■	停止
◀◀	巻き戻し再生
▶▶	早送り再生
つまみ	ボリュームの操作
I◀◀	前の曲を再生（プレイリスト再生時）
▶▶I	次の曲を再生（プレイリスト再生時）

ボタン	機能
A▶B	3機能のトグルになっています。 • A-Bリピート開始位置設定 • A-Bリピート終了位置設定と共にリピート再生が始まる • A-Bリピート解除
SHUFFLE	シャッフル演奏
⮐	繰り返し再生モード 一曲リピート ／全曲リピート ／リピートなし

再生中は、下のウインドウにサウンドのデータが表示されます。
ビデオを再生する場合は、リスト部分にビデオが表示されます。

	再生可能な形式
サウンド	MP3
	MIDI※1
ビデオ	ASF※2
	JMM

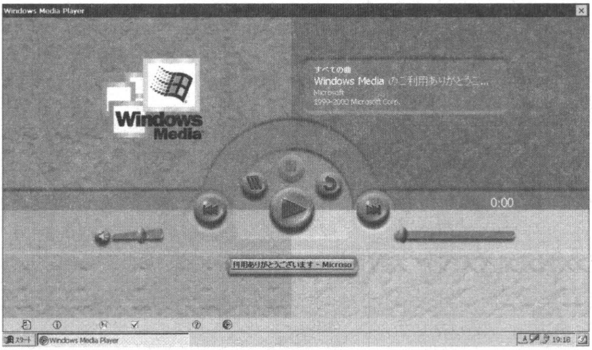
※1）
MIDIファイルを再生するには、付属のアプリケーションCD-ROMから音源データをインストールする必要があります。
※2）
再生可能なASFファイルは画像がMPEG4、音声がG.723.1でエンコードされたものに限られます。

Windows Media Player

Windows Media Player は、Microsoft 社製のサウンドプレーヤーです。
ウィンドウズメディアオーディオ形式（WMA）および、MP3 形式のサウンドが再生できます。

● **Windows Media Player の起動**

「スタート」メニューから「プログラム」→「Windows Media Player」の順に選択します。
Windows Media Player が起動します。



Windows Media Player

> **注 意**
>
> ライセンス付きのファイルを InterLink にコピーする場合は、ActiveSync またはエクスプローラで直接コピーしないでください。直接コピーをおこなうと、ファイルに関連付けされたライセンスがコピーされないため、再生できません。

● **サウンドファイルを開く**

画面下の [アイコン] ボタンをタップして再生リストを開き、再生するファイルを選択します。
再生中は、下のウインドウにサウンドのデータが表示されます。

● **再生の操作**

再生のコントロールは、画面下のボタンでおこないます。

▶／II	再生／一時停止
■	停止
I◀◀	トラックの先頭へ
▶▶I	次のトラックへ移動

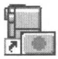
つまみ	ボリュームの操作
↻	再生リストの連続再生
\\\\	再生リストのシャッフル
ⓘ	トラック情報の表示

USB カメラを接続して使う

ビデオキャプチャー

注 意

USB カメラ接続時にカメラ付属のドライバをインストールする必要はありません。



ﾋﾞﾃﾞｵｷｬﾌﾟﾁｬｰ

InterLink に USB キャプチャーカメラ（別売）を取り付けると、ビデオを撮影することができます。

❶USB キャプチャーカメラを接続して、デスクトップの「ビデオキャプチャー」アイコンをダブルタップします。

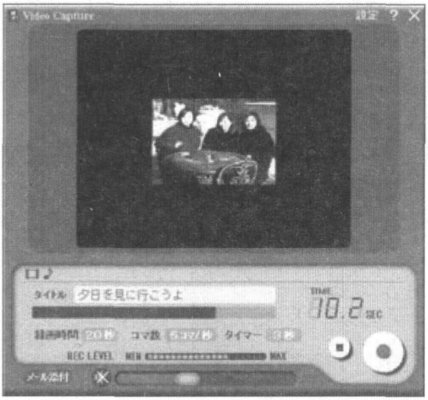
ビデオキャプチャーが起動します。

❷録画 ● ボタンをタップします。

撮影中の画像が画面に表示され、録画／録音が開始されます。

注 意

音声入力ができるのは、本体マイクからのみです。



ビデオキャプチャー
撮影モード

●**録画を停止する**

セルフタイマーの時間になると自動的に停止します。録画を途中で停止したいときは、「停止」■ ボタンをタップします。

❸取り込んだ画像を編集します。

録画／録音した内容を再生して、確認したり編集することができます。

取り込んだ画像の操作は以下の通りです。

▶	再生	I◀	1コマ戻す
II	一時停止	▶I	1コマ進める
I◀◀	先頭まで戻る	IN	カット編集開始位置を設定
▶▶I	最後まで進める	OUT	カット編集終了位置を設定

●撮影をやり直す

「戻る」ボタンをタップすると、撮影モードに戻ることができます。



ビデオキャプチャー編集モード

❹取り込んだビデオを保存します。

1. タイトルを入力する

「タイトル」欄をタップし、ビデオのタイトルを入力します。

2. ビデオの保存形式を選択する

「作成」ボタンをタップします。表示されたファイル保存ダイアログで、ビクター独自のjmm形式かWindowsのASF形式を選択します。

> **参考**
>
> ASF形式の場合はMPEG4で、jmm形式の場合はH.263でコーデック（変換）されます。

参考

ASF形式はWindows Media Playerで再生することができます。再生できない場合は、インターネットに接続した状態で再生し直してください。

●**作成したビデオをメールで送る**

ビデオファイルを作成し、「メール添付」ボタンをタップします。「AVリンクメール」が起動され、ファイルが添付された状態のメール作成画面が表示されます。宛名、タイトル、メッセージを入力すると、送信することができます。また、jmm形式のビデオファイルは、Windows用プレーヤーを添付して送信すると、相手のWinodws環境で再生することができます。

対応ファイル形式の一覧

アプリケーション	対応ファイル形式	拡張子	備考
ピクチャーアルバム	JPEG、Exif2.0、Exif2.1	.jpg／.jpeg	
	BMP（2色／16色／256色／フルカラー、RGB非圧縮）	.bmp	
	GIF（2色／16色／256色、87a／89a（アニメーションGIF対応））	.gif	
	JVCオリジナル形式の動画	.jmm	
	動画	.asf	
	静止画に付加する音声（wav形式）	.wav	ファイル名は静止画像ファイルと同じ
	静止画に付加する音声（jmm形式）	.jmm	ファイル名は静止画像ファイルと同じ
ピクチャーパレット	JPEG、Exif2.0、Exif2.1	.jpg／.jpeg	
	BMP（2色／16色／256色／フルカラー、RGB非圧縮）	.bmp	
	GIF（2色／16色／256色、87a／89a）	.gif	
	キントーンカラオケ背景用BMP（大きさ固定、256色）	.kbm	保存のみ
スチルキャプチャー	JPEG	.jpg	
ビデオキャプチャー	JVCオリジナル形式の動画	.jmm	
	動画	.asf	画像のコーデックがMPEG4、音声のコーデックがH.263.1になる
AVリンクジュークボックス	JVCオリジナル形式の動画	.jmm	
	動画	.asf	画像のコーデックがMPEG4、音声のコーデックがH.263.1のもののみ再生可能
	MP3	.mp3	
	MIDI（SMF[スタンダードMIDIファイルフォーマット]）	.mid	GS音源準拠
Windows Media Player	MP3	.mp3	
	Windows Media Audioフォーマット	.wma	ライセンス付きの曲はPCのWindows Media Player7を使ってコピーしてください
キントーンカラオケ	キントーンカラオケファイル	.grk	
	MIDI（SMF[スタンダードMIDIファイルフォーマット]）	.mid	歌詞付きSMFファイルにも対応

CD-ROM アプリケーション

ここで説明するソフトウェアは、付属の「アプリケーションCD-ROM」に収録されています。ソフトウェアを使用するには、PC と接続して、InterLink にあらかじめインストールしておく必要があります。

> **参考**
>
> CD-ROM アプリケーションはバージョンアップのため、変更される場合があります。

CD-ROM アプリケーションのインストール

CD-ROMアプリケーションをインストールするには、あらかじめActiveSyncをインストールしたPCと、InterLinkを接続する必要があります。(→17ページ)

❶「アプリケーション CD-ROM」を PC の CD-ROM ドライブにセットします。

アプリケーションソフトリスト 1 が自動的に開きます。自動的に開かない場合は、CD-ROM ドライブをエクスプローラーなどで開き、InterLink アイコンをダブルクリックして開きます。

> **注意**
>
> 「キントーンプレーヤ」と「ラップンボイス」のインストールは、「MIDI 音色データ」をインストールしてからでないとできません。
>
> アプリケーションソフトリスト２に表示されるアプリケーションの説明は、アプリケーションCD-ROMの「説明」フォルダにありますので、お読みください。



アプリケーションソフトリスト

「次へ」ボタンをクリックすると、アプリケーションソフトリスト２が表示されます。

CEマーク：InterLinkにインストールするソフトウェア

WINマーク：PCにインストールするソフトウェア

容量：インストールに必要な容量を示します。

インストール済みのソフトウェアは、タイトルが赤字で表示されます。

❷ ソフトウェアのタイトルの左にある「選択」ボタンをクリックします。

❸「説明をみる」ボタンをクリックします。

ソフトウェアの説明や使用許諾等が表示されます。



ソフトウエアの説明

説明はスクロールさせて読むことができます。インストールを開始する前に必ずお読みください。

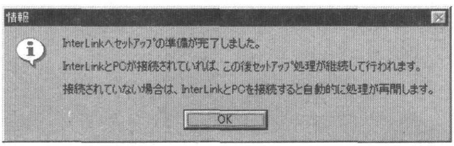
❹説明画面またはアプリケーションソフトリスト画面で「インストール」ボタンをクリックします。

ソフトウェアのインストールを開始します。

1. 接続の確認

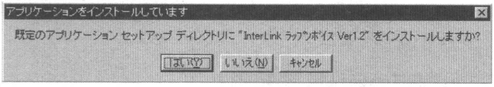
PC側でインストールの準備ができると、InterLinkをPCに接続していることを確認するメッセージが表示されます。

「OK」ボタンをクリックします。



2. インストール先の確認

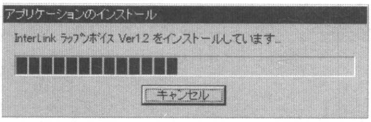
インストール先の確認画面が表示されます。



「はい」ボタンをクリックして、本体メモリにインストールします。

3. インストールの実行

PCからInterLinkにソフトウェアが転送されます。



右側までバーが伸びるとインストール終了です。
InterLinkとPCの接続を外し、InterLinkでインストールのセットアップ作業をおこないます。(ソフトウェアによってはこの手順は必要ないものもあります)
画面に表示される手順に従ってください。

●アンインストール

インストールしたソフトウェアを削除するには、InterLinkの「コントロールパネル」にある「アプリケーションの削除」を使用します。

注意

ソフトウェアをインストールする場合は、PCと通信する状態が続き、電池を消耗します。大きな容量のソフトウェアをインストールする場合はInterLinkをAC電源に接続してください。

インストール先の確認画面で「いいえ」ボタンをクリックして、既定のアプリケーションセットアップフォルダ以外の場所にインストールすると、正常に動作しません。

注意

インストールは本体メモリに行なってください。メモリカードにインストールすると、動作しないアプリケーションがあります。

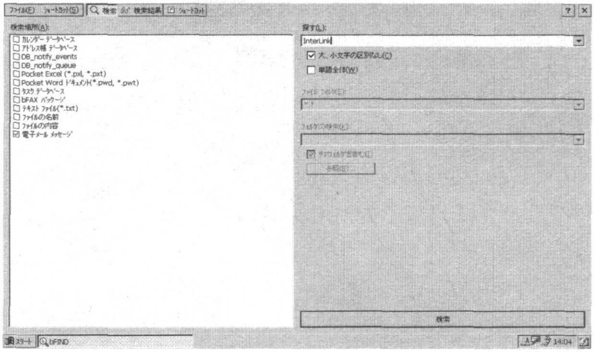
BSQUARE bFind

BSQUARE bFindは、メール、ファイル名、ファイル内の文字列を検索するユーティリティです。

- **「BSQUARE bFind」を起動する**

「スタート」メニューから「プログラム」→「InterLinkユーティリティ」→「BSQUARE bFind」の順に選択します。

「BSQUARE bFind」が起動します。



BSQUARE bFind

- **「検索の対象」を指定する**

[検索場所]欄で検索する対象をタップして、チェックをオンにします。

「Pocket Excel」、「Pocket Word」、「ファイルの名前」、「ファイルの内容」などを選択した場合は、検索対象とするフォルダを「フォルダの検索」欄で指定できます。

「ファイルの内容」を選択した場合は、検索対象とするファイル名を「ファイルフィルタ」欄で指定できます。

- **検索を開始する**

検索する文字列を「探す」欄に入力し、「検索」ボタンをタップします。検索が実行され、「検索結果」画面が表示されます。

- **「検索結果」画面で検索結果を見る**

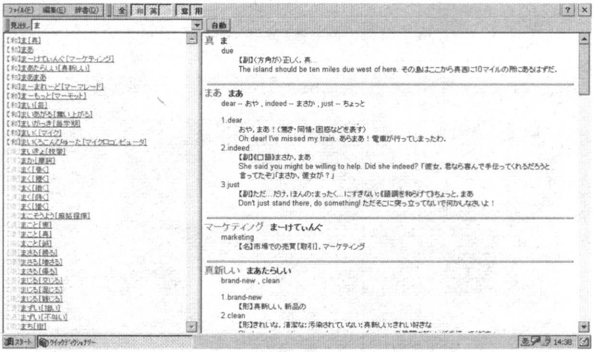
検索結果のファイルを選択して、「表示」ボタンをタップすると作成したアプリケーションが起動し、内容を確認できます。検索を途中で終了する場合は、「中止」ボタンをタップします。

クイックディクショナリー

クイックディクショナリーは、英和辞典、和英辞典、漢字百科の3冊の辞書を一度に引くことができるソフトウェアです。

●クイックディクショナリーの起動

デスクトップの「クイックディクショナリー」アイコンをダブルタップします。
クイックディクショナリーが起動します。



クイックディクショナリー

●言葉を調べる

言葉を調べるには、「見出し」欄に調べたい言葉を入力します。自動的に対応する内容が検索され、表示されます。

●使用する辞書を切り替える

使用する辞書を切り替えるには、メニューバーの「英」(英和辞典)「和」(和英辞典)「漢」(漢字百科)のボタンをタップします。また、ユーザー辞書を追加した場合も、このボタンで使用するかどうかを選択します。
初期設定ではすべての辞書を使用します。

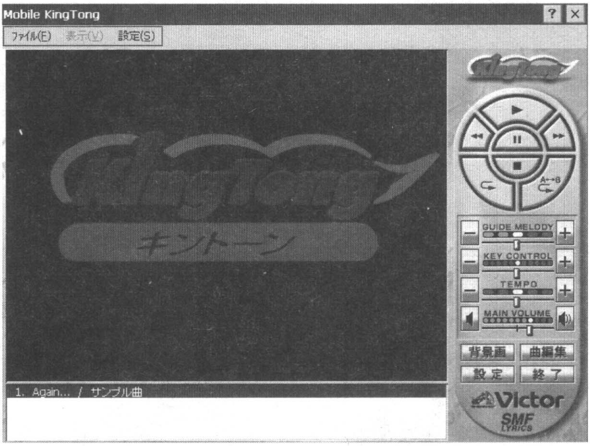
キントーンプレーヤ

「King Tong（キントーン）カラオケ」は、通信を利用したカラオケです。簡単な操作で、高品質なカラオケが楽しめます。また、最新の曲をインターネットからダウンロードして楽しむことができます。

●キントーンプレーヤの起動

デスクトップの「キントーンプレーヤ」アイコン をダブルタップします。

キントーンプレーヤが起動します。



キントーンプレーヤ

●カラオケの曲をダウンロードするには

IEで、キントーンのサイト（http://www.kingtong.com）にアクセスして、サイトのガイドにしたがって曲をダウンロードします。

●カラオケで歌う

「ファイル」メニューの「開く」を選び、再生するファイルを選択します。

曲名と歌詞は画面に表示されます。

▶	再生
‖	一時停止
■	停止
◀◀	巻戻し

▶▶	早送り
つまみ	ボリュームの操作
REPEAT	全曲リピート
REPEAT1	一曲リピート

ラップンボイス

「ラップンボイス」は、「アディ」という女の子がテキストをラップ調で読み上げ、それにあわせてダンスをするエンターテイメントソフトウェアです。
「ラップンボイス」で入力した文字や、テキストファイルから読み込んだ文字、「AV リンクメール」で受信したメッセージを歌うことができます。

●ラップンボイスの起動

デスクトップの「ラップンボイス」アイコンをダブルタップします。
「ラップンボイス」が起動します。



ラップンボイス

●読み上げるファイルを読み込む

「ファイル」メニューの「開く」で読み上げるテキストファイルを選択します。
または、テキストを直接ウインドウにタイプします。

●読み上げの操作

テキスト読み上げは画面のラジカセのボタンで操作します。

▶	再生
■	停止

スライダ	音量の調節
Quit	ラップンボイスの終了

JRトラベルナビゲーター

注 意

時刻表のデータを最新版に更新するには、インターネットからダウンロードします。この場合は、同梱の「年間サポート契約申込書」で登録する必要があります。

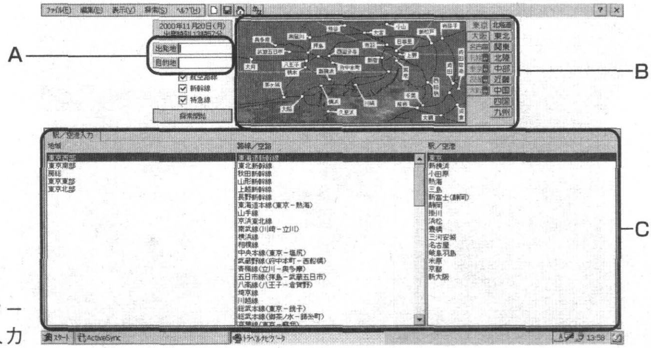
「JRトラベルナビゲーター」は、時刻表と連動した経路探索ソフトウェアです。

出発地点と行き先を入力すると、現在時刻から利用できるもっとも早い交通機関の乗り継ぎを検索します。

● **JRトラベルナビゲーターの起動**

デスクトップの「JRトラベルナビゲーター」アイコンをダブルタップします。

「JRトラベルナビゲーター」が起動します。



JR トラベルナビゲーター
駅／空港入力

「出発地」と「目的地」を選択します。

入力方法は以下の３種類があります。

A. 駅名を入力する

B. 地図から選ぶ

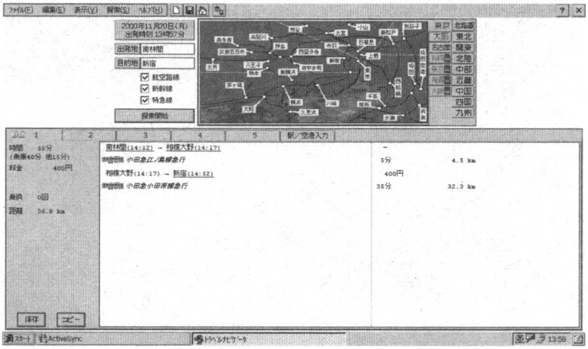
C. 駅／空港のリストから選ぶ

地点を選択したら、「探索開始」ボタンをタップします。

ルートが検索され、結果が表示されます。

注 意

ツールバーの「表示」をタップして、表示された会社リストから選択しても、ホームページが開かないものがあります。



JR トラベルナビゲーター
検索結果

複数のルートがある場合は、タブ（1、2…）で表示されます。
タブをタップすると、それぞれのルートが表示されます。
検索結果は「保存」ボタンでテキスト形式で保存したり、「コピー」ボタンでクリップボードに送ることができます。

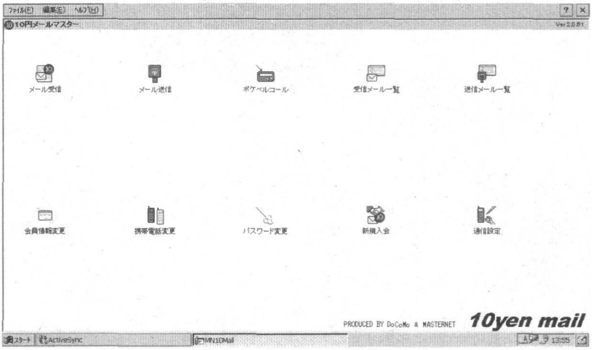
10円メールマスター

「10円メールマスター」は、マスターネットの「10円メール」を使うためのメールソフトです。
「10円メール」を使うには、NTT ドコモの携帯電話と接続ケーブルが必要です。また、「マスターネット」に入会する必要があります。

● **10円メールマスターの起動**

デスクトップの「10円メールマスター」アイコンをダブルタップします。

「10円メールマスター」が起動します。



10円メールマスター

「10円メールマスター」の詳しい操作は、「？」ボタンをタップして表示されるヘルプをご参照ください。

ビジュアルチャッター

「ビジュアルチャッター」は、InterLink同士でテレビ電話を楽しむソフトウェアです。ビジュアルチャッターを使用するには、2台のInterLinkにLANカードとイーサネットを使用してネットワーク接続している必要があります。
映像付きのチャットには、それぞれのInterLinkにUSBカメラが必要です。
なお、音声だけの通話には、USBカメラは必要ありません。

●ビジュアルチャッターの起動

デスクトップの「ビジュアルチャッター」アイコンをダブルタップします。
「ビジュアルチャッター」が起動します。



ビジュアルチャッター

> **注意**
> ツールバーの「表示」をタップして、表示された会社リストから選択しても、ホームページが開かないものがあります。

「ビジュアルチャッター」の詳しい操作は、ヘルプをご参照ください。

● USBキャプチャーカメラ(MP-UC1)を使用するときの注意

InterLink MP-C303には、改善されたUSBキャプチャーカメラドライバが内蔵されています。そのため、USBキャプチャーカメラ(MP-UC1)に付属のCD-ROMは使いません。そのCD-ROMからInterLinkにUSBキャプチャーカメラドライバをインストールすると、動作しなくなります。誤ってインストールしたときは、下記のように操作して正常な状態に戻してください。

❶ USBキャプチャーカメラをInterLinkから取りはずします。

❷「スタート」メニューから「設定」→「コントロールパネル」→「アプリケーションの削除」の順に選択します。

❸「アプリケーションの削除のプロパティ」の画面で「USBキャプチャカメラドライバ」を選択し、「削除」ボタンをタップします。

誤ってインストールしたドライバが削除されます。

❹ InterLinkを再起動します。

❺ InterLinkとPCを付属のシリアルケーブルで接続し、「アプリケーションCD-ROM」をPCのCD-ROMドライブに入れます。

❻ アプリケーションソフトリストの画面で、「ビジュアルチャッター」の「選択」ボタンをタップし、「説明を見る」ボタンをタップします。

> **注意**
> 「ビジュアルチャッター」も、USBキャプチャーカメラ付属のCD-ROMではなく、InterLink付属のアプリケーションCD-ROMからインストールしてください。誤ってインストールした場合は、旧バージョン「ビジュアルチャッター」を削除し、アプリケーションCD-ROMより新バージョンをインストールしてください。

❼ **「ビジュアルチャッター」説明画面右下の「復元ツールインストール」ボタンをタップします。**

❽ **「USBカメラ復元ツール」画面で、「はい」をタップします。**

「USBカメラドライバー復元ツール」がInterLinkにインストールされ、デスクトップに「カメラドライバ復元ツール」アイコンが表示されます。

❾ **デスクトップの「カメラドライバ復元ツール」アイコンをダブルタップします。**

InterLinkのレジストリの再設定や必要なファイルのコピーが行われます。

❿ **USBキャプチャーカメラをInterLinkに接続し、正常に動作することを確認します。**

⓫ **USBキャプチャーカメラドライバが正常な状態に戻ったら、「コントロールパネル」の「アプリケーションの削除」で「USBカメラドライバー復元ツール」を削除します。**

CD-ROMアプリケーション（Windows）

CD-ROMには、3本のWindows95（98）またはWindows NT/2000用ソフトウェアが含まれています。
これらのソフトウェアは、WindowsのPCにインストールして使用します。

CD-ROMアプリケーションのインストール

●**アプリケーションリストを開く**

「アプリケーションCD-ROM」をPCのCD-ROMドライブにセットすると、アプリケーションソフトリスト1が自動的に開きます。
自動的に開かない場合は、CD-ROMドライブをエクスプローラーなどで開き、「Setup.exe」をダブルクリックして開きます。



アプリケーションソフトリスト

「次へ」ボタンをクリックすると、アプリケーションソフトリスト２が表示されます。

CEマーク：InterLinkにインストールするソフトウェア

WINマーク：PCにインストールするソフトウェア

容量：インストールに必要な容量を示します。

●説明を読む

ソフトウェアのタイトルの左にある「選択」ボタンをクリックして、「説明を読む」をクリックすると、ソフトウェアの説明や使用許諾等が表示されます。

説明はスクロールさせて読むことができます。インストールを開始する前に必ずお読みください。

●インストールする

説明画面またはアプリケーションソフトリスト画面で「インストール」ボタンをクリックすると、ソフトウェアのインストールを開始します。

注 意

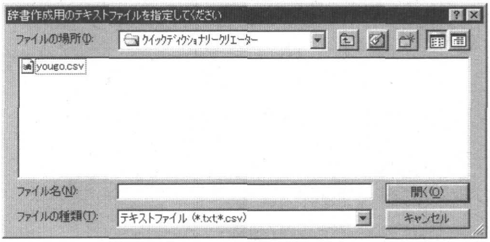
アプリケーションソフトリスト2に表示されるアプリケーションの説明は、アプリケーションCD-ROMの「説明」フォルダにありますので、お読みください。

Quick Dictionaryクリエーター

InterLinkの「クイックディクショナリー」用の追加辞書作成ソフトウェアです。
テキストファイルからユーザー辞書を作成できます。
追加辞書の内容はCSV形式のテキストで作成しておきます。
テキストの書式および、作成したユーザー辞書の組み込み方については、「クイックディクショナリー」のヘルプを参照してください。

● **Quick Dictionaryクリエーターの起動**

「スタート」メニューから「プログラム」→「Quick Dictionaryクリエーター」の順に選択します。
「Quick Dictionaryクリエーター」が起動します。



Quick Dictionary クリエーター

辞書のテキストファイルを指定すると、自動的にファイルを変換し、同じフォルダに出力して終了します。

デモ版　キントーンプレーヤ

Windows95版のキントーンプレーヤです。
インターネットから曲をダウンロードしてカラオケを楽しむことができます。
ただし、このソフトウェアはデモ版のため、いくつかの機能制限があります。正規版は、ビクターのサイトから購入することができます。

●**キントーンプレーヤの起動**

「スタート」メニューから「プログラム」→「キントーンプレーヤ」の順に選択します。
「キントーンプレーヤ」が起動します。

注意

「キントーンプレーヤ」はWindows2000/NTには対応していません。



キントーンプレーヤ

「キントーンプレーヤ」の詳しい操作は、ヘルプをご参照ください。

Adobe Acrobat Reader 4.05日本語版

Adobe社のPDF形式ファイルを表示するソフトウェアです。

● **Adobe Acrobat Readerの起動**

「スタート」メニューから「プログラム」→「Adobe Acrobat Reader」の順に選択します。
「Adobe Acrobat Reader」が起動します。
「Adobe Acrobat Reader」の詳しい操作は、ヘルプをご参照ください。

4 ハードウエアの取り扱い

ディスプレイを調整する

明るさと画面の調整

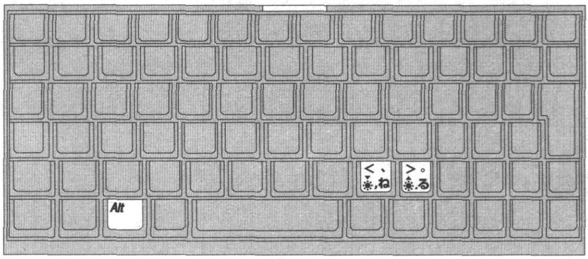
●明るさの調整

ディスプレイの明るさは段階的に調整できます。

ディスプレイの明るさの調整は、キーボードでおこないます。液晶画面が見やすくなるように調整してください。

「Alt」＋［ね」 ディスプレイが暗くなる

「Alt」＋「る」 ディスプレイが明るくなる



●画面の設定

画面の設定は、「コントロールパネル」の「画面」をダブルタップしておこないます。

また、デスクトップの壁紙の変更およびバックライトの設定もこの画面でおこないます。

充電池に関するご注意

InterLinkには、内蔵バックアップバッテリーと専用リチウムイオンバッテリーパックが使われています。

- **内蔵バックアップバッテリー**

  専用リチウムイオンバッテリーを取り出して半日以上使用しない場合は、内蔵バックアップバッテリーが放電し、本体メモリに記憶されているプログラムやデータが消失します。

  ・専用リチウムイオンバッテリーを交換するときは、すみやかにおこなってください。

  ・InterLinkを使用するときは、必ず専用リチウムイオンバッテリーをセットしてご使用ください。

- **専用リチウムイオンバッテリーパック（メインバッテリー）**

  専用リチウムイオンバッテリーパックを満充電（約3時間）にして放置した場合、最大で約2週間は、本体メモリに記憶されているプログラムやデータをバックアップします。

  ・長時間ご使用にならない場合は、外部メモリにデータのバックアップ（→ 28ページ）をおこなってください。

  ・AC電源につないでご使用になる場合は、データをバックアップする必要はありません。

サスペンドとは

サスペンドとは、電源をオンにした時に、最後に電源をオフにした状態にすぐに復帰する機能です。
PCで作業している場合、誤って電源を切ると作成中の文書は失われ、次に電源をオンにした時にはOSの初期画面が表示されます。
これに対して、InterLinkでは作業中に電源をオフにしても、次に電源を入れたときには表示されるのは、作業中の状態そのままです。
このように作業中の状態をそのまま保存する機能をサスペンドといいます。

オートサスペンドについて

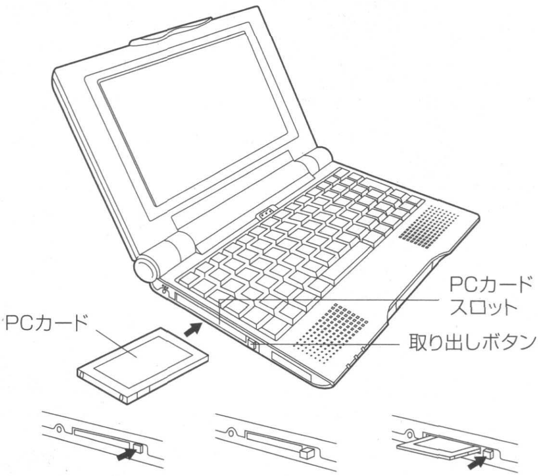
InterLinkは電池の消耗を抑えるため、メインバッテリーによる電源供給時には、3分間何も操作をしないでいると、自動的にサスペンドするように設定されています（工場出荷時）。この機能を「パワーマネージメントのオートサスペンド」といいます。
「オートサスペンド」の設定は「コントロールパネル」→「パワーマネジメント」の「電源オフ」タブで変更できます。
なお、PCカードスロットにLAN（イーサネット）カードが挿入されている場合は、オートサスペンドはおこないません。

PC カード

InterLink には PCMCIA Type Ⅱのスロットがあります。ここにメモリカード（フラッシュ ATA カードやカードアダプタを付けたスマートメディア、マルチメディアカードなど）、LAN、マイクロドライブといったさまざまな機能の PC カード（別売）を 1 枚セットできます。
接続が確認できた対応カードについては、InterLink のホームページを参照してください。

PC カードをセットする

PC カードをカードの上面を上にしてコネクタ側を先に、PC カードスロットにまっすぐ差し込みます。軽い手応えがあって、カードが固定されます。



注 意

カードが入らない時は無理に押し込まず、一度取り出して挿入方向を確認してください。無理に押し込むと、本体やカードが破損することがあります。
本体から PC カードの一部がはみ出すタイプのカードを使用する場合は、InterLink にカードを挿入したまま移動しないでください。PC カードに無理な力が加わると、故障または破損の原因となる場合があります。

● **PC カードを取り出す**

PC カードを取り出すときは、取り出しボタンを押します。取り出しボタンが手前に出てきたら、もう一度押します。スロットからカードが少し出てきたら、取り出します。

コンパクトフラッシュ

InterLinkにはType IIのコンパクトフラッシュが1枚セットできます。
接続が確認できた対応カードについては、InterLinkのホームページを参照してください。

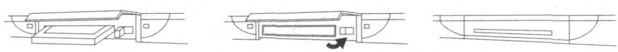
コンパクトフラッシュをセットする

注意

コンパクトフラッシュが入らない場合は、上下を確認してやり直してください。
・カードはまっすぐ差し込んでください。斜めにカードを差し込むと、カードまたは本体を破損する恐れがあります。
・コンパクトフラッシュを取り出す際、取り出しレバーを強く押さないでください。強く押すと、カードが飛び出して落下や破損の原因となる恐れがあります。
・本体からコンパクトフラッシュの一部が出るタイプのカードを使用する場合は、本体のカバーおよびディスプレイを閉じないでください。無理な力が加わると故障・破損する場合があります。また、このタイプのカードを挿入したまま移動しないでください。無理な力が加わると、故障・破損の原因となる場合があります。

本体手前側のコンパクトフラッシュカードスロットのふたを押し上げて開くと、スロットが見えます。





コンパクトフラッシュの上面を上にしてコネクタ側を先に、スロットにまっすぐ差し込みます。
カードは、コネクタにあたるまですっと入り、コネクタに差し込むと軽い手応えがあり、取り出しレバーが手前に出てきます。取り出しレバーを右に倒し、コンパクトフラッシュスロットのふたを閉じます。

● **コンパクトフラッシュを取り出す**

コンパクトフラッシュを取り出すときは、倒してある取り出しレバーを起こして、押します。コンパクトフラッシュが少し出てきたら、取り出します。

電話回線に接続する

InterLinkは、モジュラーケーブル１本で電話回線と接続して通信ができます。
本体左側のモジュラージャックカバーを開き、電話回線のモジュラーケーブルをモジュラージャックに接続します。

注 意

日本国内の一般公衆回線以外の回線には接続しないでください。



携帯電話・PHSとケーブルで接続する

InterLinkは、接続ケーブル（別売）を使用してPIAFS形式のPHS、デジタル携帯電話(PDC)、cdmaOne方式の携帯電話と接続して通信することができます。



本体右側の携帯電話／PHS／cdmaOneコネクタのふたを開け、接続ケーブルの「←」マークが上になるように接続し、もう一方の端を携帯電話やPHSに接続します。

注 意

ケーブルが入らない時は無理に押し込まず、一度取り出して挿入方向を確認してください。無理に押し込むと、破損することがあります。

接続ケーブルを接続するときは、携帯電話PHSの電源を入れた状態で、InterLinkの電源を入れてから接続してください。使用後は、接続ケーブルを外してから、InterLinkの電源を切ってください。また、使用しないときは、接続ケーブルを外してください。携帯電話・PHSの電池が消耗します。

cdmaOneの通信はPacketOne専用です。

赤外線（IrDA）で接続する

InterLinkには赤外線ポート（IrDA）が搭載されています。これを使用すると、他の赤外線ポートを搭載したノートPCやInterLinkなどのハンドヘルドPCとファイルをやりとりしたり、赤外線対応のプリンタで印刷したりできます。

ノートPCと赤外線で接続する

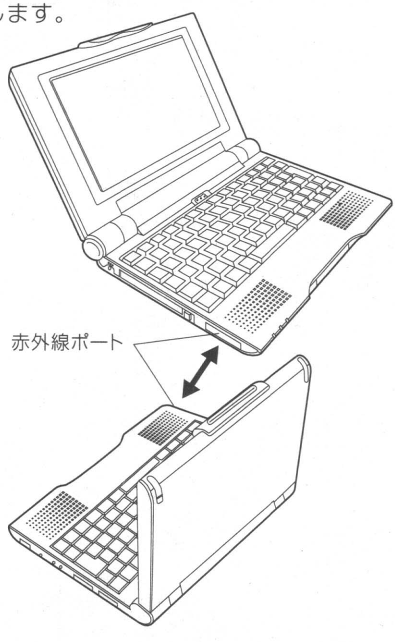
ノートPCなど、赤外線ポートのある機種と接続する場合は、シリアルケーブルの代わりに赤外線ポートを使用して接続できます。

● **InterLinkの準備**

「スタート」メニューから「設定」→「コントロールパネル」→「通信」の順に選択します。
表示された「通信のプロパティ」画面で「PCとの接続」タブをタップし、「変更」ボタンをタップします。表示された「接続方法の変更」画面で、「PCとの接続方法」を「赤外線ポート」に変更します。

● **PCの準備**

PC側でも、赤外線ポートを使用できるように設定します。



● ActiveSync で接続する

赤外線ポートの設定ができたら、お互いの赤外線ポートを向き合うように置き（50cm 以内／ポート同士の傾き 15 度以内）、ActiveSync で接続します。

赤外線対応プリンタと接続する

プリンタの赤外線ポートに InterLink の赤外線ポートを向けて置き（50cm 以内／ポート同士の傾き 15 度以内）、アプリケーションソフトで印刷コマンドを実行します。
InterLink には、以下の赤外線対応プリンタのドライバがあらかじめインストールされています。

参考
シリアルケーブルを使用しているときは、IrDA は使えません。

プリンタ　赤外線通信 IrDA 対応

キヤノン	BJC-50v/BJC-80v/BJ M70/BJM40
アイコン／シチズン	PN-60Ir

これ以外の赤外線対応プリンタを使用する場合は、プリンタ付属のドライバをインストールしてご利用ください。
ドライバのインストール方法については、プリンタ付属の取扱説明書をご覧ください。

InterLink 同士でファイルのやりとりをする

InterLink（あるいは他の WindowsCE 機）同士で、赤外線を利用してファイルのやりとりができます。
前ページの図のように 2 台の InterLink をお互いの赤外線ポートを向き合うように（50cm 以内／ポート同士の傾き 15 度以内）置きます。

●ファイルを送る

送信するファイルをエクスプローラで選択し、「ファイル」メニューから「送る」→「赤外線の受信先」の順に選択します。

●ファイルを受け取る

受信側では、ファイルを受け取るフォルダをエクスプローラで開き、「ファイル」メニューの「受信」を選択します。

参考
Outlookの「連絡先」も同様の方法でやりとりできます。この場合は、双方で「連絡先」の画面を開いて送信側は「ファイル」メニューの「送信」を、受信側は「ファイル」メニューの「受信」を選択します。

USB 機器を接続する

InterLink には、USB 機器を接続できます。

USB マウスを使う

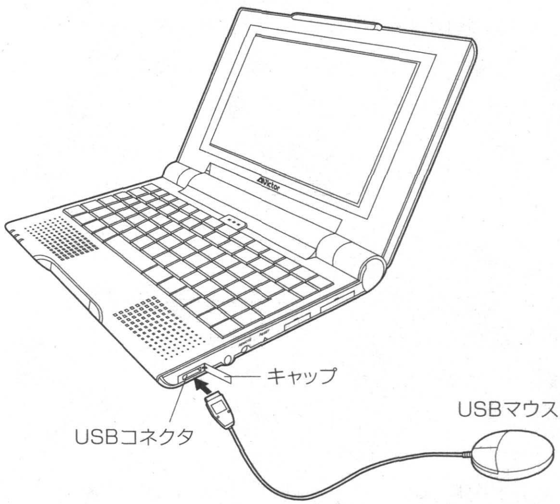
注 意

ホイール、その他の機能や、3 ボタン以上のマウスを接続しても、2 ボタンマウスとして認識されます。追加機能をお使いになる場合は、製品に付属のドライバをインストールしてご利用ください。

参 考

USB コネクタのキャップを手前側に引き出すと、右図のような状態になります。

USB マウスを接続すると、自動的にマウスポインタが表示され、スタイラスのかわりにマウスで操作できます。



InterLink には USB マウス用標準ドライバがインストールされていますが、メーカーや機種によっては専用ドライバのインストールが必要な場合があります。
ドライバのインストール方法については、機器付属の取扱説明書をご覧ください。

接続するだけで使用できるUSB機器

InterLinkでは、以下のUSB機器については、ドライバがあらかじめインストールされていますので、接続しただけですぐに使用できます。

参考

接続機器についてはホームページの接続機器確認情報をご覧ください。

ドライバ対応機種

USBキャプチャーカメラ	日本ビクター	MP-UC1
USBマウス	日本ビクター	HC-M1U-B/W, HC-M3U-A/S, HC-MM55U
デジタルビデオカメラ	日本ビクター	GR-DV2000
デジタルカメラ※1	日本ビクター	GC-X1, GC-X3
USB対応プリンタ	キヤノン	BJ F210/BJ F620/BJ M40/BJ F360 BJ F660/BJ F6600/BJ F870/BJ F610 BJ F6100/BJ F300/BJF850/BJ M70
	セイコーエプソン※2	PM-760C/PM-770C/PM800C

※1 ホームページよりJVCドライバーアップデート1.0をダウンロードする必要があります。
※2 セイコーエプソン社製プリンタについては、アプリケーションCD-ROMの「説明」フォルダのEPSON.txtを参照してください。

はじめに
ハンドヘルドPCの基礎
データのバックアップ
付属アプリケーション
ハードウエアの取り扱い
ネットワークの設定
困ったときは
付録

5 ネットワークの設定

ダイヤルアップ接続（リモートネットワーク）

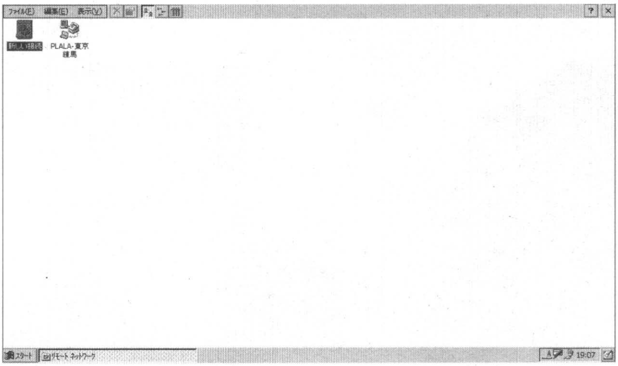
インターネットプロバイダにダイヤルアップ接続するには、「リモートネットワーク」を使用します。
ダイヤルアップ接続の設定は、「インターネット簡単設定」で行なってください。（→「かんたんスタートガイド」取扱説明書１　10ページ）

リモートネットワークを起動する

「スタート」メニューから「プログラム」→「通信」→「リモートネットワーク」の順に選択します。
「リモートネットワーク」が開きます。

参考

デスクトップに、接続先のショートカットが作られている場合は、ショートカットをダブルタップすると、この画面を開かずにすぐに「プロバイダに接続する」に進みます。



リモートネットワーク

「新しい接続」と作成済みのダイヤルアップ接続のアイコンが表示されます。

参考

接続先のダイヤルアップ接続は「インターネット簡単設定」（→「かんたんスタートガイド」取扱説明書１　10ページ）で作成します。また、この画面で「新規」を選んで作成することもできますが、「インターネット簡単設定」を使用することをおすすめします。

プロバイダに接続する

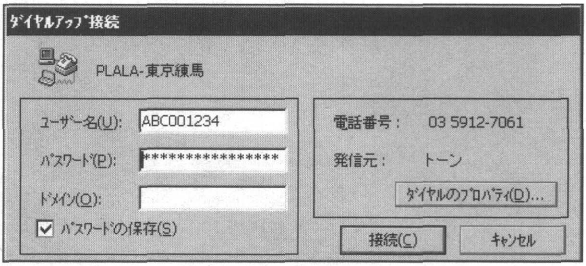
プロバイダに接続する前にあらかじめ InterLink を電話回線、携帯電話、PHS などに接続します。(→ 107 ページ)



接続先アイコンの例

❶ 接続先のアイコンをダブルタップします。

「ダイヤルアップ接続」画面が表示されます。



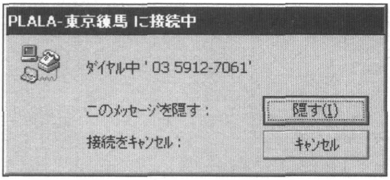
ダイヤルアップ接続

参考

「インターネット簡単設定」を使用して作成した場合は、ユーザー名・パスワードがすでに設定されています。

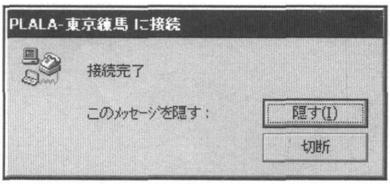
❷ ユーザー名とパスワードを入力して、「接続」ボタンをタップします。

接続中画面が表示され、プロバイダに接続します。



接続中

プロバイダに接続し、ユーザー名とパスワードが確認されると、「接続完了」画面が表示されます。



接続完了

注意

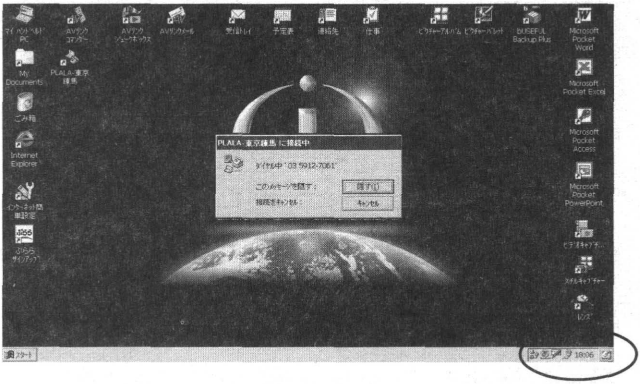
商用プロバイダに接続する場合はドメイン欄には何も入力しないでください。
文字が入力されていると、接続ができなくなります。

パスワードは入力した文字数に関わらず、「パスワード」欄いっぱいに*が表示されます。

ダイヤルアップ接続を切る

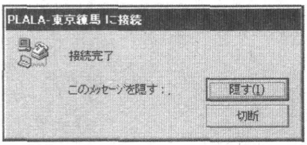
> **注意**
>
> PHS/PDCの場合は、電話が切れたことを確認してから取り外してください。
> 接続が終了しても電話が切れていない場合は、電話機で電話を切ってからケーブルを取り外してください。

ダイヤルアップ接続中は、タスクトレイに「接続」アイコンが表示されます。



❶ **接続アイコンをダブルタップします。**

「接続完了」画面が表示されます。



接続完了

❷ **「切断」ボタンをタップします。**

接続を切断します。切断が終了したら接続ケーブルを取り外します。

LANへの接続

LANカードによる接続

InterLinkは、NE2000互換のPCMCIAカードまたはCFカードのLANカードを使用して、ネットワークに接続できます。

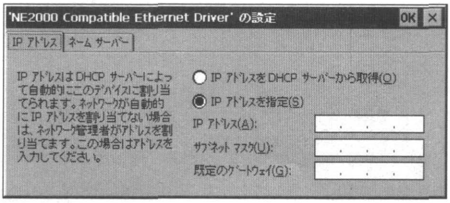
LANに接続する前に「コントロールパネル」の「通信」でInterLinkのデバイス名を初期値の「Handheld_PC」から「InterLink」などの半角英数字のみの名前に変更します。

❶ InterLinkの電源をオフにします。

❷ LANカードをInterLinkのPCカードスロットにセット（→105ページ）し、LANケーブルとハブをLANカードに接続します。

❸ InterLinkの電源をオンにします。

LANカードの接続が自動的に認識され、IPアドレスの設定画面が表示されます。（一度認識されたら、表示されません）



IPアドレス設定

注意

動作確認済みのLANカードについては、InterLinkのホームページを参照してください。

LANカードで接続するには、ネットワークの知識が必要です。

デバイス名に記号や全角文字など、半角英数字以外が使用されていると通信がおこなえないことがあります。

> **注意**
> IPアドレスの設定については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

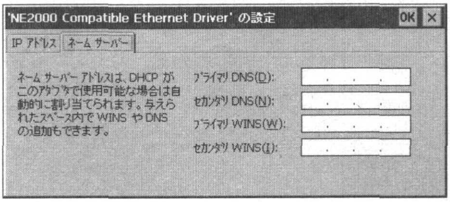
❹InterLinkのIPアドレスを設定します。

DHCPサーバーを使用してネットワークを運用している場合は「DHCPサーバーから取得」を選択します。ISDNルーターなどを使用した家庭内LANなどの小規模LANの場合は、ルーターのDHCP機能を停止して、ネットワーク内の各PCおよびInterLinkに固定IPを与えることをおすすめします。

ISDNルーター等を使用している場合は、デフォルトゲートウェイにルーターのアドレスを入力してください。(アドレスについてはルーターの取扱説明書を参照してください。)

❺「ネームサーバー」タブをタップします。

ネームサーバーの設定画面が表示されます。

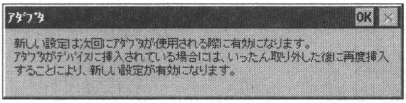


ネームサーバーの設定

DNSサーバーおよびWINSサーバーのIPアドレスを設定します。

WindowsNT、Windows2000のようなDNS/WINSサーバーを使用してネットワークを運用している場合はそれらのサーバーのIPアドレスを設定します。ISDNルーターなどを使用した家庭内LANなどの小規模LANの場合は、DNSにはプロバイダから指定されたDNSサーバーのアドレス(指定されている場合、それ以外は空欄のままにします)を、プライマリWINSのアドレスには、パートナー関係を結んでいるPCのIPアドレスを入力します。

❻「OK」ボタンをタップします。



メッセージが表示されたら、「OK」ボタンをタップし、LANカードを一度とりはずし、しばらく（約10秒程度）待ってから、もう一度セットします。

参 考

設定の変更が必要な場合や、IPアドレスの設定画面が表示される場合は、ネットワークの設定を「コントロールパネル」の「ネットワーク」で変更します。

ActiveSyncでPCと接続する

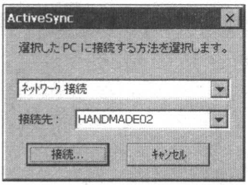
LANの設定ができたら、パートナー関係を結んだPCとActiveSyncで接続します。
LAN経由のActiveSyncの接続は、InterLinkからおこないます。PCからは接続できません。

注 意

LANで接続する前に、あらかじめケーブルまたは赤外線で接続してPCとパートナー関係を結んでおく必要があります。

❶「スタート」メニューから「プログラム」→「通信」→「ActiveSync」の順に選択します。

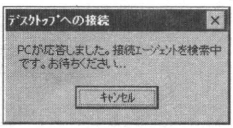
ActiveSyncのウインドウが表示されます。



ActiveSync (InterLink)

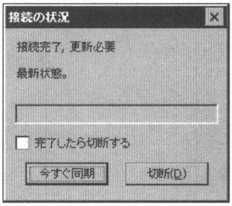
❷上の欄の右側の ▼ をタップして接続方法を「シリアルポート @**k」から「ネットワーク接続」に変更し、「接続」ボタンをタップします。

「デスクトップへの接続」の画面が表示されます。



デスクトップへの接続

しばらくすると、接続されて、自動的に同期がおこなわれます。



接続の状況

同時に、PCでもActiveSyncが起動して、モバイルデバイスの操作ができるようになります。
接続を切るには、「接続の状況」画面で「切断」ボタンをタップします。

Microsoft Network Cliantとして使用する

参考

「_」はMicrosoft Networkではデバイス名として使用できない文字のため、「コントロールパネル」の「通信」で変更する必要があります。

InterLinkには、Microsoft Network Cliantが組み込まれています。
Microsoft Networkでファイル／プリンタを共有している場合は、「¥¥コンピュータ名¥資源名」の形式で、公開されているネットワーク資源にアクセスできます。
WindowsCEの初期設定では、デバイス名が「Handheld_PC」となっています。

注意

この方法によるネットワーク接続を使用した場合は、ActiveSyncを使用した場合と異なり、WindowsCEのファイル形式(Microsoft Word Pocket Wordなど)は変更されません。Webを見るには、ゲートウェイのIPの設定が必要です。

デバイス名は英数字で設定します。また、名前を変更した場合は、PCとのパートナー関係が失われる場合があります。いままでのパートナー関係を削除し、もういちどパートナー関係を新規に設定してください。

LAN接続でWebを見る

ネットワークの設定が正しくされている場合は、Pocket IEを起動して、普通に操作するだけで高速なWebブラウズを楽しむことができます。ダイアルアップ接続の必要はありません。

RASダイヤルアップ接続

InterLinkは、RASアカウントでモデムのダイヤルアップ接続ができます。
RAS接続に関しては、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
また、アプリケーションCD-ROM内の「readras.doc」もあわせてご参照ください。

ターミナルサーバークライアント

InterLinkはWindows2000Serverのターミナルサーバークライアントとして使用できます。

- **ターミナルサーバークライアントを起動する**

  「スタートメニュー」から「プログラム」→「アクセサリ」→「Terminal Server Cliant」を選択します。
  「Terminal Sever クライアント」画面が表示されます。
  使用するサーバーのマシン名を入力します。

注 意

サーバーの設定はネットワーク管理者にお問い合わせください。

6 困ったときは

故障と思う前に

おや、故障かな?と思ったら、修理を依頼する前にちょっとお確かめください。
画面に表示されたメッセージについては、InterLinkアプリケーションの各ヘルプをご覧ください。

こんなときは	ここをお確かめください
電源が入らない (パワーランプが点灯しない)	AC電源が正しく接続されていますか。 バッテリーパックが正しく取り付けられていますか。(→「かんたんスタートガイド」取扱説明書1　3ページ) メインバッテリーは充電してありますか。 コールドリセット操作を(→「かんたんスタートガイド」取扱説明書1　7ページ)よく読んでおこなってください。
充電しない (充電ランプが点灯しない)	リチウムイオンバッテリーパックの消耗が少ない場合は、充電しないことがあります。その場合は、バッテリーパックで使用し、動作させてからACアダプターを接続してください。
充電ランプが点滅している	充電温度範囲(5～35℃)の環境下でバッテリーパックの抜き差しをおこなってください。
自動的に電源が切れる	電源キーで電源を入れた後、画面のタップ操作を何もしないと、約1分間で電源が切れます。AC電源でお使いのときでも、電源を入れた後に、必ず画面操作を一度おこなってください。 バッテリーでお使いの場合は、何も操作をしないと、バックライトが消えます。何か操作をすると、再び画面が表示されます。 電池の節約のため、自動的に電源が切れる設定になっています。 「コントロールパネル」の「パワーマネジメント」で確認してください。

通信設定データやファイル、インストールしたアプリケーションが消えた	内蔵のバックアップバッテリーが放電している可能性があります。 長時間使用しない状態が続きませんでしたか。
電源投入後、画面が真白で、画面をタップしてもタップ音がしない。 スタイラスやキーボードの入力を受け付けない	リセット操作をしてください。(→「かんたんスタートガイド」取扱説明書１　７ページ)
プログラムが反応しなくなった	「Ctrl」キーと「Alt」キーと「Del」キーあるいは「Alt」キーと「Tab」キーを同時に押して、表示された「タスクマネージャ」でプログラムを終了させてください。または、本体右側のリセットボタンをスタイラスで押してください。
PCカードやコンパクトフラッシュカードを入れても認識しない	InterLink対応のカードをお使いですか。 カードを正しくセットしていますか。(→105、106ページ)
赤外線通信ができない	InterLinkと通信相手の赤外線ポートをまっすぐ向き合わせ、適切な距離(50cm以内)に置いていますか。(→108ページ) 蛍光灯や携帯電話、PHSなどから十分離して操作してください。
通信ができない (内蔵モデム)	電話回線とInterLinkのモジュラージャックが、付属のモジュラーケーブルで正しく接続されていますか。(→107ページ) 「インターネット簡単設定」または「リモートネットワーク」で接続先の電話番号が正しく設定されていますか。 電話回線がアナログ回線であることを確認してください。 「ダイヤルアップ接続」画面で「ダイヤルのプロパティ」ボタンをタップし、「発信元」の設定を確認します。0発信を行なっていないか、「トーン」「パルス」の設定は合っているかを確認してください。 外線発信番号が必要な場合のみ、外線発信番号0(ゼロ)などを付加します。

通信ができない (内蔵モデム)	受話器を上げた時、プーという音がしない時には、ダイヤルトーンの検出をおこなわない設定にしてください。
通信ができない (携帯電話、PHS) **接続機器については、ホームページの接続確認機器情報をご覧ください。**	携帯電話やPHSに「圏外」の表示が出ていませんか。 PHS/PDCの場合は、市内であっても市外局番からのダイアルが必要です。「ダイアルパターン」をタップして確認してください。 「インターネット簡単設定」または「リモートネットワーク」で接続先の電話番号が正しく設定されていますか。 携帯電話側の設定がFAXモードになっていませんか。データ通信モードとFAXモードの両方を「OFF」に設定してみてください。 本体の電源を切った状態で携帯電話、PHSを接続すると、データ通信モードになる機種があります。 64kbps対応のPHSで接続する場合は、アクセスポイントが64kbpsに対応している必要があります。 一部のPHSや64Kbps対応のPHSを使って32kbps専用のアクセスポイントに接続する場合や、パケット通信(DoPa)で使用する場合は、「インターネット簡単設定」での設定時に注意が必要です。「かんたんスタートガイド」(取扱説明書1)の11ページの手順④で、次のように設定してください。 1. モデムの選択で「カードスロット(その他)」をタップし、をタップして「COM5の携帯電話/PHS/cdmaOne」を選択します。 2. 「通信設定の詳細」をタップします。「ポート設定」の「接続環境の設定」で、通信速度は「38400」を選択します。 3. 「呼出しのオプション」をタップします。お使いの機種や方法に合わせて、「追加設定」欄に半角英数で下記を入力します。

-wb=1 -wa=1 -wc=1	・DDIポケットのH"（エッジ）の場合：-wb=1 ・NTT DoCoMo（64kbps）及びASTEL（32kbps）の一部の場合：-wa=1 ・パケット通信(DoPa)の場合：-wc=1 4. 以降は「かんたんスタートガイド」（取扱説明書 1）の手順に沿って行ってください。
インターネットに接続できない	ユーザーIDやパスワードは正しく入力されていますか。(ドメイン名の入力は必要ありません。) ただし、PacketOneの場合はユーザーIDの後に、@ドメインなどの入力が必要です。 インターネットプロバイタサービスへの利用が集中し、つながりにくい時間帯ではありませんか。別のアクセスポイントへの接続を試してみるか、早朝などの空いている時間帯にかけ直してみてください。
接続後、すぐに切断される	「モデムが装着していないか、故障しています…」または「切断完了」のメッセージが表示されて、接続が切断される場合は、「ダイヤルアップ接続」画面で入力された「ユーザー名」または「パスワード」が間違っています。 「ユーザー名」「パスワード」を入力し直して、もういちど接続します。
Internet ExplorerでWeb閲覧をおこなうと、「インターネットサイト '×××' が見つかりません。アドレスが〜」の表示が出る。	リモートネットワークの「TCP/IPの設定」ダイアログで、以下のことを確認します。 「全般」の項目で「IPアドレス」欄に間違えた値が入力されていませんか。「サーバーが割り当てたIPアドレス」のチェックボックスはオンになっていますか。 「ネームサーバー」の項目で「プライマリDNS」および「セカンダリDNS」欄のアドレスを確認してください。
自動受信ができない	「ダイヤルアップ接続」のプロパティに電話番号だけの入力で接続できるプロバイダ（moperaなど）に自動受信する場合は、ダイヤルアップのユーザー名とパスワードに何か文字を入力しないと接続できません。

PCと通信ができない(シリアルケーブル)	PCとInterLinkの拡張コネクタが、付属のシリアルケーブルの「➡」マークを上面にして接続されていますか。(→ 19ページ) ケーブルを接続したPCのシリアルポートが、ActiveSyncサービスのインストール中に選択したものと同じかどうか確認してください。
「AVリンクメール」で相手にメールが届かない	相手のメールアドレスは正しく入力されていますか。 メールアドレスを全角文字で入力していませんか。
「AVリンクメール」でメールが受信できない	「ツール」メニューの「基本設定」の「受信」で、受信サイズに制限を設定していませんか。
日本語の入力ができない	日本語が入力できる状態になっていますか。(→ 14ページ)
日付や時刻が正しくない	「世界時計」で設定し直してください。(→ 69ページ) 自宅は日本になっていますか。 ActiveSyncで時刻の同期をおこなっている場合は、同期するPCの時計を設定しなおしてください。
音が鳴らない	「コントロールパネル」の「ボリューム＆サウンド」を確認してください。 ステレオヘッドフォンが接続されていませんか。
処理が遅い	通信をしているときおよび「AVリンクジュークボックス」の演奏中は、InterLinkの他の処理が遅くなります。それ以外のときも処理が遅い場合は、リセット操作をしてみてください。
メモリの領域を増やしたい	「コントロールパネル」の「システム」で、記憶用メモリとプログラム実行用メモリを調整してください。(→ 27ページ)
音がとぎれたり、ノイズが出たりする	26万色モードになっていませんか。「コントロールパネル」の「インターリンクオリジナル設定」で「LCDを26万色モードにする」のチェックをオフにしてください。(→25ページ)

Q&A

本体について

Q1. スタイラスのタップ位置：スタイラスのタップ位置がズレてきたのですが？

A. 「ウィンドウズ」キーを押しながら「I」キーを押します。「Enter」キーを押してから補正をおこなってください。

Q2. 動作速度について：使用していると、だんだん動作速度が遅くなったような気がするのですが？

A. 一度に複数のアプリケーションを起動していると、動作が遅くなる場合があります。この場合、他のアプリケーションは終了してください。
また、全てのアプリケーションを終了して本体右側のリセットを押すことで早くなることがあります。

Q3. メモリの有効活用：メモリを有効活用する方法は？

A. 以下の方法を参考にしてください。
・ごみ箱に不要データ等を蓄積しないこと
・ごみ箱のプロパティでごみ箱の最大サイズを小さくする
・IEのキャッシュサイズを小さくする
・IEのキャッシュをクリアする
・メモリカードを使用し、アプリケーションのインストールや、データの保存をできるだけメモリカードにおこなう
プログラムの種類によってはプログラムを終了してもメモリを開放しないものがあります。この場合には、本体右側のリセットを押すことで使用できるメモリを確保することができます。

Q4. 内蔵モデムを海外で使用：InterLink内蔵モデムを海外で使用することはできますか？

A. InterLinkの内蔵モデムは、日本国内での使用を目的に設計されていますので、海外での使用はできません。
※ 弊社では、海外での使用に関して、サポートおよび動作保証はいたしません。

Q5. RAM増設：RAMを増設することはできますか？

A. MP-C303はすでに32MBのRAMを搭載しており、増設することはできません。

Q6.　スマートメディアについて：スマートメディアを InterLink で使用するには？

A.　InterLink ではスマートメディアを直接使用することはできません。ご使用の際には、スマートメディアアダプタが必要となります。動作確認済の機器はビクターの Web サイトをご覧ください。

注意　ATA 互換でない一部のスマートメディアアダプタは InterLink では動作しません。

SmartMedia™ は（株）東芝の商標です。

Q7.　付属品について：付属品をなくした場合の入手方法を教えてください。

A.　スタイラス（ペン）など紛失された場合、お買い上げの販売店または、最寄のサービスセンターにてお取り寄せすることができます。サービスセンターにつきましては、ＰＣサポートセンターにお問い合わせください。

バッテリー関係について

Q1.　バッテリー切れによるデータが消失：メインバッテリーを入れたまましばらく使用しないでいたら初期化され、データが消えてしまいました。

A.　InterLink 本体は電源を切った状態でもメモリの内容を保持するために、バッテリーが使用されています。
このため充電済の専用リチウムイオンバッテリーパックでも約 2 週間位で放電してしまい、メモリの内容が失われます。長期間使用しない場合には、必ずバックアップをしてください。

Q2.　メインバッテリーでの使用時間：メインバッテリーでの使用時間を長くする方法は？

A.　コンパクトフラッシュや PC カード、USB 機器など、使用しない時は、本体から抜いてください。
「コントロールパネル」の「画面」で「減光までの時間」を短時間に設定するのも有効な方法です。
起動時の電流が大きいため、短時間に何回も電源 ON/OFF を繰り返すと駆動時間が大幅に短くなります。

Q3.　充電時間：メインバッテリーの充電時間は？

A.　約 3 時間です。

Q4. 内蔵バックアップバッテリーの充電時間： 内蔵バックアップバッテリーの充電時間は？

A. 約1日です。
「コントロールパネル」の「パワーマネージメント」で充電状況が確認できます。

Q5. 内蔵バックアップバッテリーによるデータ保護：内蔵バックアップバッテリーで、データが保護される時間は？

A. 内蔵バックアップバッテリーのみで放置した場合約半日です。メインバッテリーを交換するときは内蔵バックアップバッテリーだけになりますので、すみやかに交換してください。本体メモリの内容が消失してしまいます。
すぐに付属のACアダプタを使用してデータを保護してください。また、充電済の専用リチウムイオンバッテリーパックを入れたまま放置した場合、InterLinkが動作しなくなってから約3日間バックアップされます。
データ消失に備えて、外部メモリ等へこまめにバックアップすることをお勧めします。

Q6. バックアップバッテリーの残量警告表示：電源を入れると、バックアップバッテリーの残量警告表示が出てしまいます。

A. お買い上げ直後や、しばらく使用していなかった時など、電源を入れた際に内蔵のバックアップバッテリーが「少ない」または「残りわずか」の状態で電源を入れると、バックアップバッテリーの残量警告表示が出ます。
内蔵のバックアップバッテリーの残量は「コントロールパネル」の「パワーマネージメント」で確認ができます。
バックアップバッテリーが「OK」の状態になるまで充電を行なってください。
電源ON、OFFに関わらず、ACアダプターに接続されているか、メインバッテリーが充電済みの場合は充電がおこなわれます。

アプリケーションについて

Q1. 外部ディスプレイでスライドショウを見る：スライドショウで動画再生やポインタ表示などが外部ディスプレイに表示されません。

A. 外部ディスプレイに出力するには、まず「コントロールパネル」の「インターリンクオリジナル設定」の「画面の設定」で「外部ディスプレイを有効にする」のチェックをオンにします。スライドショウを外部ディスプレイに表示するには、「ピクチャーアルバム」でスライドショウの出力先を「ビルトインLCD」以外（例：F2、SVGA、800X600X24）に変更する必要があります。
「設定」メニューから「スライドショウ」を選択して設定します。

Q2. スライドショウの撮影日時：スライドショウで撮影日時が表示されない画像があります。

A. 撮影日時を表示するには、Exif方式で撮影日時が画像と共に記録されている必要があります。撮影日時が記録されていない場合は表示されません。

Q3. WindowsPCでjmm形式の動画を見るには：AVリンクメールで動画を送ったが、受信側でファイルの再生ができません。

A. InterLink付属のビデオキャプチャーで作成したjmmファイルはビクターオリジナルの動画ファイルです。
他のWindowsパソコンで再生する場合には、Windowsプレーヤを添付してください。
Windows用 ビデオプレーヤーは、ビクターのホームページからダウンロードすることもできます。

Q4. 付属アプリケーションの削除：付属アプリケーション（本体内蔵）を削除したいのですが。

A. 付属アプリケーションは削除できません。
削除できるのは、お客様が製品購入後にインストールしたアプリケーションだけです。

Q5.　Pocket Word/Excel等のファイル：InterLinkで作成したPocket Word/Excel等のファイルを、パソコン上で開くことはできますか？

A.　ActiveSyncを使ってPCにファイルをコピーする場合は、自動的に変換を行うため、そのまま開くことができます。
コンパクトフラッシュ等でファイルをやりとりする場合は、PCで使用するアプリケーションに合ったファイル形式（例：Word 97/98J文書 doc形式など）で保存する必要があります。
InterLinkでファイルを保存する際に、「名前を付けて保存」でファイルの種類を変更してください。

PCとの接続について

Q1.　Pocket Outlookの同期：Windows PCとの接続でPocket Outlookのデータが同期できません。

A.　InterLinkとWindows PCとのOutlookのデータを同期するには、Windows PCにMicrosoft Outlook97/98/2000もしくは、Microsoft Schedule+がインストールされている必要があります。
Outlook Expressとの同期はできません。

Q2.　時刻の同期：Windows PCと接続するとInterLinkの時刻が変わってしまいます。

A.　Windows PCと接続した時に、InterLinkの時刻はWindows PCの時刻と同期されます。
時刻を同期したくない場合は、「Active Syncの設定」で「接続時にモバイルデバイスの時刻を同期する」のチェックを外してください。

Q3.　複数のPCとのパートナー関係：InterLinkと複数のWindows PC間で接続してパートナー関係を結ぶことはできますか？

A.　1台のInterLinkと接続して同期する（パートナー関係を結ぶ）ことのできるWindows PCは2台までです。
3台以上接続する場合には、必要のない接続を削除してください。Windows PCは、何台のInterLinkでも同期する（パートナー関係を結ぶ）ことができます。

Q4. シリアル接続時のダイヤルアップ：シリアルケーブルでPCに接続するたびに、PC側にダイヤルアップ接続のダイアログが表示されてしまいます。ダイアログが出ないようにするには、どうすればよいのでしょうか？

A. ダイヤルアップのダイヤログが出た場合は、「キャンセル」を選択してください。何度も表示される場合があるので、すべて「キャンセル」を選択してください。

ダイヤルアップのダイアログが出ないようにするには、PCを以下のように設定してください。

1. PCの「コントロールパネル」の「インターネット」または「インターネットオプション」を開きます。
2. 「インターネットのプロパティ」ダイアログが表示されます。
3. 「接続」タブをクリックし、以下のように設定します。
   ただし、このように設定すると、IEを起動してもダイヤルアップ接続のダイアログが自動で出なくなります。

Internet Explorer 5.x	「ダイヤルしない」を選択する。
Internet Explorer 4.x	「LANを使用してインターネットに接続する」を選択する。
Internet Explorer 3.x	「必要時にインターネットに接続する」のチェックをオフにする。

なお、この設定をおこなうと、Outlookでメールチェックする時に自動的にダイヤルする設定になっていても、ダイヤルアップのダイアログが表示されます。

Q5. PC接続時の認証：PCとInterLinkを接続する際の認証について教えてください。

A. PCとInterLinkを接続する際、ユーザー名とパスワードによる認証が発生します。Windows 95/98の場合、基本的に認証は発生しません。[ユーザーログオン]ダイアログが表示た場合は、何も入力せずに[OK]をクリックします。
Windows NTの場合、必ず認証が発生します、ユーザー名とパスワードを入力します（ドメイン名は入力しません）。
この認証は、接続先のPCにローカルログオンの権利があるかどうか確認するものです。

通信について

Q1.　使用できる電話回線：内蔵モデムで接続できる電話回線は？

A.　NTTアナログ公衆回線です。ISDN公衆電話の場合は、端子をアナログ回線側に接続して使用してください。
また、NTTアナログ回線に準拠している構内交換機（PBX）にも接続できる場合があります。ビジネスホン等の家庭用以外の回線やISDN回線などには、故障の原因となりますので接続しないでください。

Q2.　モデムの接続速度：内蔵モデムの接続速度が遅い。

A.　内蔵モデムの理論上最高通信速度はダウンロード時56000bpsですが、接続先のアクセスポイントや通信経路の回線状態などにより接続速度は変わります。

7 付録

製品仕様

型名		MP-C303
CPU		MIPS VR4122 180MHz
ROM		32MB
RAM ※1		SDRAM 32MB
表示機能	液晶画面	65000色（最大26万色）※2、 ポリシリコン透過型TFT液晶（バックライト付）
	液晶サイズ	7型、800×600ドット （最大1024×600ドット）※3
入力方式		キーボード（キーピッチ:15mm）、スタイラス
内蔵モデム ※4		データ：56Kbps（V.90準拠）、 FAX：14.4Kbps
インターフェイス	拡張コネクター	シリアル(RS-232C)
		外部ディスプレイ出力 ※5 (最大表示1024×600ドット) ※6
	データ通信	モジュラージャック（RJ-11）
		PHS（PIAFS）64kbps、32kbps ※7
		デジタル携帯電話（PDC）9.6kbps、DoPa ※7
		cdmaOne（PacketOne専用）、64kbps、 14.4kbps ※7
	その他	USBコネクタ ※8
		赤外線ポート（IrDA1.1,IrTran-P準拠） 赤外線リモコン
		スティックコントローラ専用ジャック
		ステレオミニジャック
カードスロット		PCMCIA　TYPE Ⅱ×1スロット コンパクトフラッシュ　TYPE Ⅱ×1スロット
使用電源		AC電源（専用ACアダプター）
		専用リチウムイオンバッテリーパック（付属）
充電時間		約3時間（専用リチウムイオンバッテリーパック）
駆動時間 ※9		（非通信時）約6時間／（連続通信時）約3時間
使用温度範囲		5℃～35℃

外形寸法	(W)217mmX(H)24mmX(D)153mm (突起物を除く最大外形)
質量	約 740 g (専用リチウムイオンバッテリーパック含む)

付属品	
電源	AC アダプター AA-MP303 (入力 AC100-240V、65-90VA、50/60Hz、出力 DC12V 2.5A) 専用リチウムイオンバッテリーパック
接続ケーブル	シリアル接続ケーブル、モジュラーケーブル
その他	CD-ROM (2 枚)、取扱説明書 (各種)

※1 RAM はプログラム/データ記憶用メモリーとプログラム実行用メモリーとの割合を調整できます。

※2 26 万色表示時は、動画や音楽再生等の処理はサポートしておりません。

※3 1024 × 600 ドットはビクター独自の拡張機能であり、アプリケーションによっては正常に動作しない場合があります。

※4 56kbps はデータ受信時の最大速度です。データ送信時は、最大 33.6kbps になります。

※5 外部ディスプレイとの接続には、外部ディスプレイ接続ケーブル (QAM0325-001 サービス (補修)) が必要です。入手方法は PC サポートセンターにお問い合せください。

※6 画面表示能力はアプリケーションによって異なります。

※7 PHS (PIAFS)、デジタル携帯電話 (PDC)、cdmaOne での FAX 送受信、および PHS (PIAFS) での位置情報サービスは利用できません。
デジタル携帯電話、PHS および cdmaOne のケーブルは別売です。デジタル携帯電話、PHS や cdamOne の機種により正常に通信できないことがあります。

※8 周辺機器は別売です。別途ドライバソフト、接続ケーブル等のオプション類が必要な場合があります。また、周辺機器の仕様により接続できない場合があります。

※9 バッテリーの駆動時間は、ディスプレイのバックライトの明るさが最低の状態で、非通信時においては Pocket Word で 5 分間キー入力、55 分間無入力をくり返した場合のものです。通信時においては、デジタル携帯電話または PHS データ通信を使用し、Internet Explorer でホームページを連続してアクセスした時の値です。また、ご使用の条件(ディスプレイのバックライトの明るさ、外部機器の利用、低い気温等)により使用時間が短くなる可能性があります。

別売品一覧

品名	品番
液晶デジタルビデオカメラ	GR-DVX7
ポケットビデオプリンタ<プリット>	GV-HT1
USB キャプチャーカメラ	MP-UC1
USB マウス	HC-M1U、HC-M3U
専用リチウムイオンバッテリーパック	BN-EL3
PDC 接続ケーブル	MP-PD1
cdmaOne 接続ケーブル（PacketOne 専用）	MP-CD3
PHS 接続ケーブル（DDI ポケット用）	MP-PV3※1
PHS 接続ケーブル（NTT DoCoMo ／アステル用）	MP-PN1
ヘッドホン付リモコン	MP-R3
外部ディスプレイ接続ケーブル（サービス（補修）部品）	QAM0325-001

※1　H"（エッジ）およびα -DATA32 対応電話機（一部機種除く）を接続できます。接続確認機種については、InterLink ホームページでご確認ください。

索引

＜英字＞

<な行>

<は行>

<ま行>

<や行>

<ら行>

保証とアフターサービス

必ずお読みください

保証書（別添）

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受取っていただき内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間
お買い上げの日から１年間

補修用性能部品の最低保有期間

モバイルPCの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後８年です。

この期間は、通産省の指導によるものです。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご相談やご不明な点は

修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店またはPCサポートセンター窓口にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは　持込修理

120～124ページの「故障と思う前に」に従ってお調べください。
それでもなお異常のあるときは、使用を中止し、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、お客様のご要望により有料で修理させていただきます。

便利メモ			
	お買い上げ日	年　月　日	モバイルPC MP-C303
	お買い上げ店名	☎（　　）　　－	

“本商品は「外国為替及び外国貿易法」で定められた規制貨物（または役務）に該当します。本商品を輸出または国外へ持ち出す時は、日本政府の許可が必要です。”

JVC Loves the Earth

ちきゅうにやさしい みどりをまもる

私たちは環境・資源をたいせつにしています。エコマーク認定の再生紙（古紙100%含有）を使用しています。

SAVE

省エネで守る環境豊かな暮らし

ご相談や修理は

製品についてのご相談や修理のご依頼は、お買い上げの販売店にご相談ください。

ご転居等で保証書に記載のお買い上げ販売店に修理をご依頼になれない場合は、「PCサポートセンター」窓口にご相談ください。

お問い合わせ

ビクター製品についてのお買い物相談、お取り扱い方法、お手入れ方法、その他ご不明な点は下記までお問い合わせください。

〒221-8528
神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12
ビクターPCテクニカルサポートセンター
受付時間 10:00 ～ 18:00 ※土日祝祭日を除く
電　話 (046) 278 ― 1940

InterLinkホームページ
http://www.jvc-victor.co.jp/interlink/
このホームページで、InterLinkの最新情報やサポート情報がご覧になれます。

Victor JVC
日本ビクター株式会社

AV&マルチメディアカンパニー
ITネットワーク事業統括部

〒242-8514 神奈川県大和市下鶴間1644 電話 (046) 278-1892

LET0176-002A